

令和5年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(令和4年度分)

寒河江市教育委員会

# 目 次

I	寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1.	制度の概要及び目的	1
2.	点検・評価の対象事業	1
3.	点検・評価の方法	1
4.	学識経験者の知見の活用	2
II	教育委員会の活動状況	3
1.	教育委員会会議の開催状況	3
2.	教育委員会協議会の開催状況	4
3.	教育委員会会議以外の活動状況	5
III	施策の体系	6
IV	外部評価委員の意見	8
1.	総 括	8
2.	施策ごとの意見	10
V	令和4年度教育委員会の点検・評価対象事務事業	
◇	評価調書総括表	16
◇	事業の評価（自己評価の基準等）	17
◇	点検・評価対象事業一覧	18
	【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	19

# I 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について

## 1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

この法律改正により、寒河江市教育委員会では、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民の方から教育行政について理解を深めていただくため、平成21年度から、3名の外部評価委員の方々から意見をいただき、点検・評価を実施しております。

今年度は、令和4年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

## 2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、令和4年度に実施した教育委員会所管事業のうち、事業規模及び市民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な27事業を対象に実施しています。

## 3. 点検・評価の方法

各事業について、「事務事業点検・評価調書」を基に、「有効性」、「必要性」、「効率性」及び「公平性」の観点から客観的に分析し、その事業の全体の評価と、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」のいずれであるかの自己評価を行った。

なお、評価調書に示している「目標値」については、令和7年度を目標年度としている「第2次寒河江市教育振興計画【改定版】」に明示されてあるものについてはその数値を使用しており、その目標の数値設定が今回できなかった事業は、今後担当課内で検討していくものとする。

事業の評価については、実施年度の目標値に対する達成度や成果と受け手からの評価によるものなど、総合的に判断するものとし、次のとおり段階の区分をした。

A：予定以上の成果が認められ、事業対象者からの評価も高かった。

B：予定した成果が認められ、事業対象者から一定の評価があった。

C：予定した成果は認められるものの、事業対象者の評価はあまり良くなかった。

（又は予定した成果には及ばないが一定の評価があった。）

D：予定した成果はあまり認められず、事業対象者の評価も低かった。

#### 4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験を外部評価委員（寒河江市教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

##### 寒河江市教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
安 藤 耕 己	山形大学地域教育文化学部 地域教育文化学科 教授
渡 辺 聡	元教員
秋 場 礼 子	元市体育振興公社事務局長

## II 教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会会議の開催状況

開催日	区分	議案番号	会 議 内 容
令和4年 4月18日	定例	15	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
5月19日	定例	16	寒河江市公民館に関する条例の一部改正に対する意見の申出について
6月23日	定例	17	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		18	寒河江市小中学校通学区域に関する規則の一部改正について
		19	寒河江市社会教育委員の委嘱について
		20	寒河江市中央公民館運営審議会委員の委嘱について
		21	寒河江市図書館協議会委員の任命について
		22	寒河江市教育事務評価委員の委嘱について
7月22日	定例	23	令和5年度使用教科用図書採択について
		24	寒河江市スポーツ推進審議会委員の任命について
		25	寒河江市教育委員会委員の辞職について
8月19日	定例	26	教育委員会の事務事業（令和3年度分）の点検・評価について
10月18日	定例	27	寒河江市指定有形文化財の指定について
12月23日	定例	28	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		29	寒河江市公民館に関する条例施行規則の一部改正について
		30	寒河江市勤労青少年ホーム設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
		31	寒河江市市民文化会館に関する条例施行規則の一部改正について

開催日	区分	議案番号	会 議 内 容
令和5年 3月7日	臨時	1	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		2	教職員の懲戒処分の内申について
		3	令和4年度末寒河江市立小中学校教職員人事異動内申について
3月23日	定例	4	令和5年度教育行政の一般方針について
		5	公民館長の任命について
		6	寒河江市立図書館長の任命について
		7	寒河江市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
		8	寒河江市障がい児教育支援委員会規則の一部改正について
		9	寒河江市教育委員会公印規程の一部改正について
		10	令和5年度寒河江市教育委員会所属職員の人事異動について

## 2. 教育委員会協議会の開催状況

◆開催回数 平成4年4月18日 ほかに13回

### ◆報告及び協議内容

○新型コロナウイルス感染症対応について

- ・学校教育課（感染状況、修学旅行の変更、抗原キット配布 他）
- ・生涯学習課（イベントの変更、ワクチン接種会場 他）
- ・スポーツ振興課（イベントの変更、施設の利用制限 他）

○寒河江市学校施設整備計画について

○さがえ少年少女発明クラブ発足について

○大江公ゆかりの地寒河江事業について

○市立美術館の事業について

○旧幸生小スケートボードの練習場活用について 他

### 3. 教育委員会会議以外の活動状況

#### (1) 学校訪問（令和4年度は全小中学校を訪問）

実施日	実施校	実施日	実施校
6月23日	柴橋小学校	10月15日	陵西中学校
6月30日	寒河江小学校	11月10日	西根小学校
7月6日	南部小学校	11月15日	三泉小学校
7月9日	陵南中学校	11月19日	白岩小学校
7月14日	陵東中学校	11月24日	寒河江中部小学校
10月13日	高松小学校	12月7日	醍醐小学校

#### (2) 総合教育会議

実施日	内 容
令和4年 11月16日	(1) 寒河江市学校施設整備計画について
令和5年 2月16日	(1) 部活動改革について

#### (3) その他調査・研修活動等

実施日	内 容
令和4年 4月18日	寒河江市教育委員会所管事項説明会（オンライン会議）
7月7日	西村山市町教育委員会連絡協議会総会・研修会

III 施策の体系

第2次寒河江市教育振興計画(改定)

《基本目標》 ふるさとを愛し、寒河江から夢のある未来を切り拓く人づくり  
 ～ 共に学ぶ 共に育む ～

《基本方針》

《主要施策》

《具体的な施策》

【基本方針1】

豊かな心と健やかな体を育む

1 思いやりの心を育み、命や生き方を大切にする教育の推進

多様な体験と規範意識の醸成

基本的な生活習慣の確立

学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進

2 健やかな体を育む取組みの推進

元気に遊ぶ子どもの育成

学校体育の充実

3 食育の推進

豊かな心と命を育む食育の推進

幼保小中や家庭、地域が連携した食育の推進

地産地消の推進

4 心を育む読書活動の推進

本が好きな子どもの育成

自主的な読書活動の支援

5 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組みの推進

芸術文化に触れる機会の充実

芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造

【基本方針2】

学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む

1 学びの充実と確かな学力の育成

学ぶ力を高める教育の推進

主体的な活動ができる力の育成

多様な学習環境づくり

2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進

特別支援教育の充実

教育相談機能の充実

3 これからの時代を見据えた「教育の情報化」の推進

情報活用能力の育成

ICTを活用した教育の推進

4 グローバル化に対応した教育の推進

外国語(英語)学習や国際理解教育の推進

5 発達に応じた学びを育む教育の推進

幼児教育の充実

幼保小中高の連携の推進

6 キャリア教育の推進

社会的・職業的自立に向けた教育の推進

【基本方針3】

生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する

1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進

生涯を通じた学習機会の充実

共に学び合う体制づくり

2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組みの推進

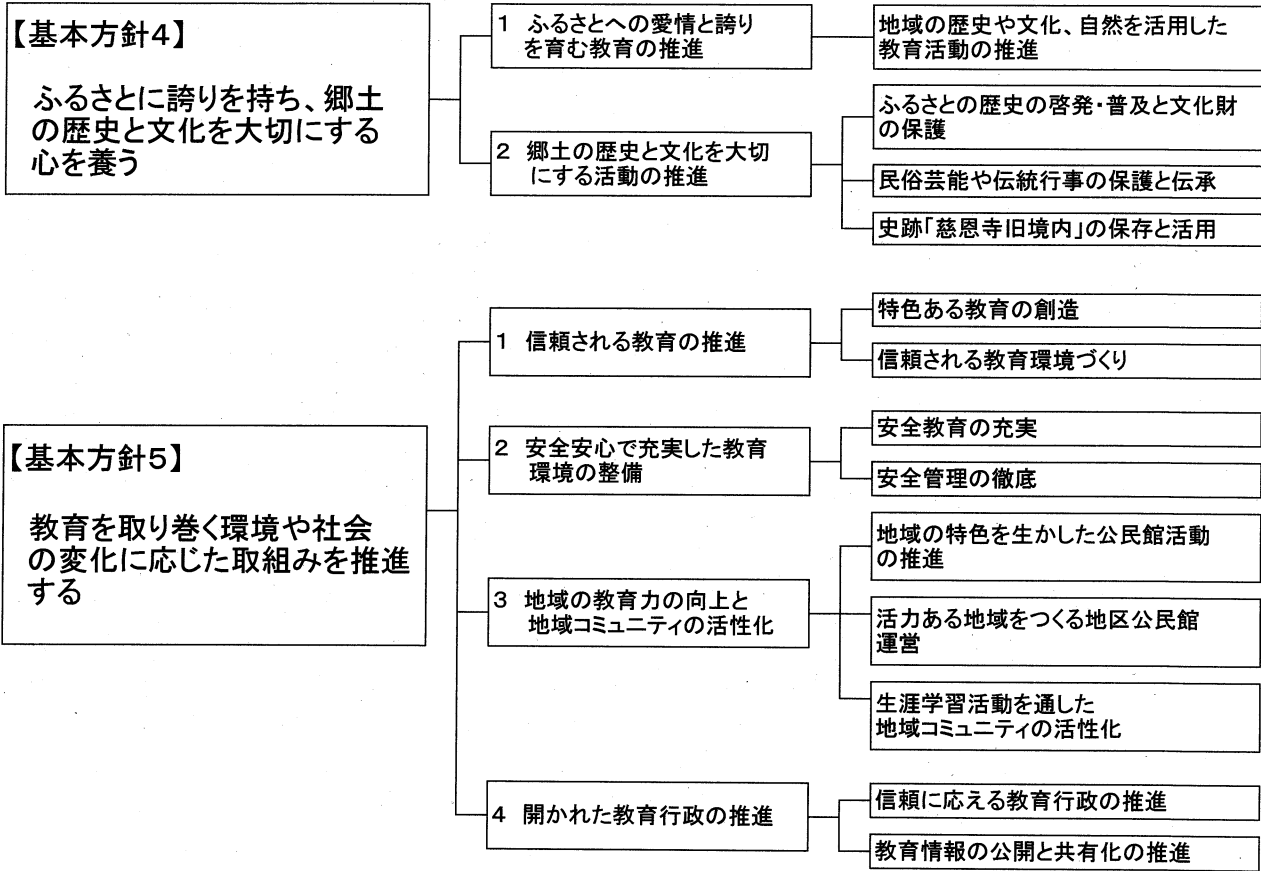
誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進

競技力向上の推進

スポーツ環境の整備と充実

スポーツを通じた地域活性化の推進





## IV 外部評価委員の意見

### 1 総括 ※令和4年度教育委員会事務事業全般について

#### ● (1) 全体について

昨年度より寒河江市教育事務評価委員を拝命し2年目となる。教育評価論に強く関心を持っており、これまでも他の自治体における評価にも携わったこともある。その観点からも意見を申し上げたい。

さて、評価対象となる令和4年度の27事業について概括すると、限られた財源の中でも教育環境を整えることに努め、教育委員会の本義を理解した事業執行を行っていると思われる。また、コロナ禍の制約が続く中、前年度より引き続き、工夫して事業の継続と展開とに当たっていたことに敬意を表するところである。

教育事業評価の取り組みは、1990年代末以降の行政評価導入の延長線上に義務化・努力義務化がなされてきたものである。事業のプロセスをPDCAサイクルでみたとき、教育事業、特に社会教育に関する部分はC(評価)・A(改善)の部分が欠けてきており、また、きちんとしたエビデンス(データや根拠)に基づいた成果提示を行って来なかったことが昨今の予算削減につながってきたとも指摘されている。それゆえに「積極的に」評価に取り組むことも行政内における予算獲得の戦略上、有益であると思われるため、昨年度に引き続き、以下意見を申し上げたい。

#### (2) 評価のあり方および事務事業点検・評価調書(評価個票)について

上記の観点から、まずは昨年度に引き続き、事務事業点検・評価調書(以下、「評価個票」とする)について意見を申し上げたい。昨年度の当委員よりの意見をふまえていただき、大幅な変更が加えられ、自己点検・自己評価にあたっての評価指標が多くシートで明示されている。また、その評価については、報告書1頁にA~Dの指標が示され、より具体性が高まった。この点は高く評価される。

しかし、一方、指標中の「事業対象者」とは、事業の種類・内容に応じて、ときには学習者(市民)のことともなり、ときには教職員あるいは施設・機関ともなる。そのときに、評価個票に「事業目的」はあるものの、「事業目標」がないことに気づかされる。一般に事業計画立案に当たっての「目的」は実施主体から見たもの(実施主体のねらい)である。これに具体的な「目標」、すなわち事業対象者の立場において達成が目指されるものが具体的に示されないとその達成度が評価できないのではなかろうか。できれば、「事業目標(=事業対象者が~になる、~できるようになる)」を設定し、その点を評価する仕組みにすればよいと思われる。

加えて、評価個票において示される、「目標値」は「第2次寒河江市教育振興計画[改訂版]」に明示されているものであるが、そのことの説明が報告書中に明示されていない。教育委員会事務局の担当者以外にはわかりづらいため、その明示が必要である。

なお、目標値等の記載が空欄となっているのは、教育振興計画に明示されていないゆえということがわかる。報告書1頁に「目標の数値設定が今回できなかった事業は、今後担当課内で検討していくものとする」とされているように、特に事業対象者(学習者)の評価がわかるアンケートに基づく指標などを作っていく必要が認められよう。

また、目標値は定量的・客観的指標に基づく「アウトプット評価」と、事業成果を定性的・質的に評価していく「アウトカム評価」がある。前者の設定や数値の把握は容易であるが、教育の成果はそれだけでは評価できないことは教育現場にある立場からは自明のことであろう。後者の評価を定着化させるためにも、前述のように評価個票中にも「事業目標」を具体

的に示し、その質的な評価指標を練り上げていく必要がある。仙台市教育委員会の事務事業評価において、上記2つの評価を事業対象者からの評価（アンケート）にも基づき試みているので、参考にしてもよいと思われる。

以上のような観点から、引き続き評価個票および評価自体を見直していくことを願うところである。しかし、とはいえ自己点検・自己評価を一生懸命すればするほど業務が増して、かえって仕事の効率が低下する「評価の逆機能」も指摘される場所である。ゆえに引き続き将来的なビジョンを定めつつ、段階的に評価のあり方を見直していただきたい。

- 新型コロナウイルス感染症予防対策をしながらの事業計画、そして実施。また、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことによる事業の復活など、いろいろと担当された職員の皆様は、ご苦労されているのではないかと思います。目まぐるしくかわる社会情勢や地域の状況を見ながら事業展開されておられる職員の皆様には心より敬意を表します。

市民として、また、教育に関わった者として、ICT教育の推進や外国語指導など社会のデジタル化やグローバル化に対応した教育行政の在り方など、常に改善や新たな取り組みを行っていただいていることにも頭が下がります。

更には、地域コミュニティの活性化や特別支援教育など、地域や一人一人の子どもを大切に丁寧な取り組みをしていただいていることについても大変ありがたいことだと感じています。

「事務事業点検・評価調書」の様式が改善され、目標値や実績値、達成度、視点ごとの5段階評価など見やすくなりました。当然数値では表せないものもあろうかと思いますが、第三者からすると大変見やすい評価票になったと感じています。

- 事業の評価（自己評価）については、実施年度の目標値に対する達成度や成果と受け手からの評価によるものなど、総合的に判断するものとしておりますが、実施する側からの見方が若干強いようで、肯定的な判定になっているように感じます。

従来と同程度あるいはそれ以上の効果が得られる事業展開が求められてきて、増々難しい対応が必要になってくると思われまます。

多くの事業が実施されておりますが、関連する部分も多く、その関連性を有効に活用していくことを願っております。

## 2 施策ごとの意見

### ○基本方針1 「豊かな心と健やかな体を育む」

#### 【学校保健事業】

- 職員が足りない学校もあり、就学時オリエンテーションで行われる健康診断を市内一括で行うことはできないものかという意見が多く小学校からあるのではないかとと思うのですが、もしそうであれば、学校職員だけでは対応できない学校もあるようなので、検討をお願いします。

#### 【図書資料等購入事業】

- 図書購入にあたっては、読書活動推進員さんからの要望が反映されているという話を伺いました。読書活動推進員さんが学校のニーズをしっかりと把握するなど、その役割を果たしていることに安心しました。また、図書館利用者数が前年度を下回らないように努力されておられるということで、年々利用者が増加することを期待します。
- ニーズに対応する図書資料の整備充実が図られるようお願いします。

#### 【読書普及事業】

- こども園や幼稚園にとって、人形劇の観賞は大きなイベントになっていました。是非継続していただけたらありがたいです。  
ボランティアの方に読み聞かせなど、こども園や保育園からお願いすることは可能であれば、その手続きの仕方などお知らせ等で公開していただければと思います。また、ボランティア育成事業などもあればと思います。

#### 【芸術文化振興事業】

- 幼児演劇教室はこども園等にとっては大変ありがたい事業です。ただ、年間計画に年度初めに明記できるよう、日程を決めていただくとありがたいです。
- 第10回の記念となる企画の「悠久の里慈恩寺コンサート」が、出演者の健康上の理由により中止になったのは、非常に残念であります。  
今後とも、市民が芸術文化に触れる機会を、引き続き確保・提供していただきたい。

#### 【美術館運営事業】

- 潤沢な予算が確保されているとは言えない中、常設展示以外の特別企画展や企画展の内容が非常にセンスよく、若い芸術家の作品展示の場として、また、地元出身芸術家の業績を知らしめるに十分に貢献していると思われる。ワークショップの実施など、さらなる工夫を試みつつ、個性のある展示がなされることに期待する。
- 様々な美術作品や芸術に触れる場や機会は、大切なものと思います。是非様々なものに触れることができる事業の展開をお願いします。
- 企画展への来場者も多く、事業の成果を評価しますが、常設展も含め総合した場合の評価をどう判断するか、ご検討いただきたいと思います。

## ○基本方針2 「学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む」

### 【教育研究推進事業】

- 時代や社会のニーズに合った教育のためには、実態の把握と研究が必要です。実態把握や対策のための学力調査の改善など、学校にとっては大変ありがたいことだと思います。各学校の研究への支援などご苦勞もあろうかと思いますが、よろしくお願ひします。新型コロナが5類になったことで、研修や公開研究なども以前のようにできるようになったのではないかと思います。併せて教員の多忙化につながらないようなものになればと思います。
- 各種学力調査の結果を、学力向上に向けたアクションプランの作成に活かされるよう期待します。

### 【学力向上推進事業】

- リーディング・スキルテストの結果など、それぞれの分野に対応した取り組みにより、TOTALスコアの上昇がみられたことは、事業の効果が出ているものと認められます。  
今後は小学校期からの取り組みの必要性を考えているとのことですので、増々期待したいと思います。

### 【教育支援推進事業】

- 不登校児童生徒の学びの場や居場所を設ける民間施設、さらにはNPO等の団体の存立は、やはり人口規模に規定されるところが大きい。それゆえ、寒陵スクールの存在は大きい。ただ、不登校の認知件数と同スクールの利用者数は、特に中学校において前年度に引き続き乖離しており、多様な支援の必要性が浮かび上がる。  
現在は学校復帰のみを前提としない不登校児童生徒支援が認められていることを確認しつつ、オンライン学習をも組み合わせて出席とみなすホームスクーリング的対応も今後の検討に入れていただくとおよいかわれる。
- 不登校の児童生徒の数が年々増えている状況の中、教育相談員の増員は必要なことではないかと思ひます。職員の研修も必要ですが、保護者の研修などについても講師の派遣や周知・啓発など教育委員会の支援があればいいのではないかと思ひます。（参加しない保護者も多いので）
- 不登校をはじめとする教育相談などの事業を、予算的にも人的にも充実し、総合評価でAと評価するも、なかなか効果がみえてこないことに不安が残ります。  
R5年度からは、教育相談員、訪問相談員の制度上の垣根を超え、全ての教育相談に広く対応するとのことですので、更なる今後の取り組みに期待したい。

### 【障害児通学支援事業】

- この支援はどの自治体にもあるものではなく、それだけで評価できるものである。本年度からは登下校とも送迎が可能となったと聞く。児童生徒の放課後等デイサービス利用に際してもその便宜を図るものとなっているとのことであり、今後の継続・充実が強く望まれる。
- 是非、登下校往復の支援ができるようお願ひします。
- 児童生徒の安全面の確保及び保護者の負担軽減のため、以前より登下校往復での支援を要求してきましたが、R5年度より条件付きではありますが登下校往復での支援ができるようになったことは、素晴らしい前進だと思います。

### 【小中学校 ICT活用支援事業】【ICT整備推進事業（小中学校）】

- 全教室への電子黒板の設置、令和8年度のタブレットの更新など、多額の予算が必要であるとは思いますが、ICT教育環境の維持・充実はこれからの教育には必要不可欠なものだと思いますのでよろしくお願いいたします。

職員の校務支援に、また、文科省からガイドラインなども出ているようなので、児童生徒の教育に、生成AI、所謂チャットGPTなどの導入などを検討してはいかがでしょうか。

- ICT活用への取り組みを進めてきたことは、大いに評価するも、教育・指導内容の定着をきちんと評価していくことも大事だと思います。

また、電子黒板の全小学校への早期設置を望みます。

### 【コミュニティ・スクール推進事業】

- 昨年度から全小中学校に地域学校協働活動推進員が配置されているようであり、地域学校協働活動の充実が望まれる。地域学校協働活動推進員の確保と研修は他の自治体においてもだいぶ苦慮しているところである。今後も継続して注力していただきたい。さがえ未来コンソーシアムの活動にも注目している。「社会に開かれた教育課程」に基づくカリキュラムマネジメント構築に際して不可欠なものとして認識している。

- 地域コーディネーターの配置、学校としては大変ありがたいと思います。できれば、コーディネーターが常勤になればと思います。

また、部活動が地域に委託されるまで、部活動支援員も増員してもらえればと思います。

- 体制は整えているようですので、事業の推進・展開に期待したい。

### ○基本方針3 「生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する」

### 【寒河江さくらんぼ大学推進事業】

- 令和4年度も新型コロナウイルス禍の中、だいぶ工夫されての実施となったようであるが、新たな講座も設けられ、受講者が確保されていることがわかる。さらに引き続き、運営委員会方式による住民参画型の運営が進むことを願う。本事業も評価に報告書が添えられると評価もしやすく、また住民への周知の意味においても意義あるものと思われる。

- 目標値には達しなかったものの、興味のある人にとっては魅力的な講座になっていると思います。今年度のパンフレットを見ましたが、多様な講座が開設されており担当者の工夫や苦労が感じられます。たくさんの方が受講希望されることを期待しています。

- 長く続く人気のある事業で、ニーズを捉えたものと思います。

また、学習成果を発表するワークショップを設けるなど、新しい取り組みもあり、熱心さが伺えます。

### 【生涯スポーツ振興事業】

- ボルダリング教室やモルック体験会など新たな競技に触れる機会ができるというのは、大変よいと思います。競技施設等の問題もあり、個人で挑戦するにはハードルが高いものもあり、行政サービスによる体験教室は大変よい機会ではないかと思います。

- 規模は小さくとも新しい事業への取り組みもみられ、積極的な事業展開が認められます。

コロナ禍前の元に戻すのは非常に困難であり、新たな方向性を探りながら、スポーツに親しむ機会の提供や、スポーツ振興に努めていただきたい。

### 【体育施設整備事業】

- これから、学校統合により廃校になる学校もあるのではないかと思います。体育館やプール、給食室など体育施設等としての活動など検討いただければと思います。
- これからは、体育施設の老朽化への対応に追われることと思いますが、利用実態やニーズを把握して整備を進め、安全・快適で良好な利用環境の維持をお願いしたい。

○基本方針4 「ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う」

### 【地域スポーツ活性化推進事業】

- 旧幸生小学校体育館を屋内スケートボードの練習場所として活用する試みは、市内外の若者・子どもや若い家族を引きつけるものとなることが期待される。スケートボードビギナーズスクールなどの教室の展開も併せ、今後のさらなる展開に期待したい。
- 「する、見る、支えるスポーツ」というお話がありました。見る、支えるスポーツということで、一流のスポーツ選手を間近で見られる機会があればと思います。例えば、VリーグやBリーグ、プロ野球などの試合が市内で見られたらと思います。
- スポーツツーリズムの関連の各種大会は、コロナ禍による中止や縮小で、これからの取り組みが大切と考えます。  
新しいスポーツのスタイルで、スポーツを通じた町づくりに期待します。

### 【市史編纂事業】

- 歴史資料の収集や古文書の解説、それによる寒河江市史編纂叢書の刊行は研究者や歴史愛好家のみならず、学校における探究型学習の深化に際しても重要なものとなる。今後も成果公表を工夫しつつ、調査研究を継続・深化させていただきたい。昨年度の市史要約編の刊行も幅広い層に地域の歴史を知らしめるに重要な取り組みであり、評価される。  
なお、市史編纂叢書のうち、在庫がないバックナンバーについてはデジタルアーカイブ化も必要と思われる。今後、検討をお願いしたい。
- 市史要約編の発刊などにより、新たに市史への関心を持つ市民が増えるのではと思います。編纂に関わる方々の地道な努力と作業に感謝です。
- 次の世代に残すためにも、市史編纂事業計画に基づき、事業を継続していただきたい。

### 【文化財保護庶務事業】

- 鎌倉殿の13人のPR事業のお陰で、寒河江市の知名度があがり、市全体も活気づいた感じがしました。
- 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」による人気が一過性にならないよう、今後の取り組みに期待したい。

### 【史跡慈恩寺旧境内整備事業】

- 慈恩寺は、寒河江市の観光資源であると思います。たくさんの方が訪れるような環境の充実をお願いします。(さくらんぼ狩り→慈恩寺→昼食→チェリーランド)
- R4年度に市長部局から教育委員会所管になったことにより、より専門的な内容の深い事業展開ができるものと期待しています。

### 【郷土館保存事業】

- 児童の学習にとっては大事な施設となっています。是非、存続と施設内の充実をお願いします。

### ○基本方針5 「教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する」

### 【学校職員衛生管理事業】

- 時間外労働80時間を超える職員は、実際にはもっといるのではないかと思います。しかし、面接指導を避けるために時間外の勤務を申告しない職員がいると思われます。この矛盾をどうするかが課題ではないかと思います。
- R3年度に向上したストレスチェックの受診率が、中学校で大幅に低下したことは残念なことでもあります。  
強制ではないものの、受診にご協力いただき、結果をメンタル面の健康維持に役立てていただきたい。

### 【教育振興事業（小中学校）】

- 教育環境という点で、大規模校と小規模校の環境に差が気になります。例えば、中部小の特別教室、理科室や音楽室などと足りていないと思われます。統合や学校建設の際には、学校規模に合った教室数、ICT環境を意識した教室の広さなど考慮していただければと思います。
- 1人1台タブレットPCの有効活用のためにも、デジタル教科書の導入を加速して進めていただきたい。

### 【学校管理事業（小中学校）】

- 老朽化によって施錠も怪しいサッシもあります。侵入者などないとは思いますが、死角のない監視カメラの設置なども必要ではないかと思います。
- 全ての小中学校にエアコン設置が完了し、よりよい環境で学習できるようになったことは、大変喜ばしいことです。  
電気料や燃料費については、数値の総合的な判断で効果を評価するものと考えます。

### 【公民館活動事業】

- 昨年度までは地域塾事業の縮小・中止が続いたようである。一方として、昨年度は公民館大会や少年少女合唱団の定期演奏会も復活したとのことで、今年度は一層の事業展開を望むところである。
- 公民館に常勤の職員がいることは大変ありがたいことだと思います。地域から学校がなくなれば、地域コミュニティの拠点は公民館です。是非、施設、及び、事業の充実をお願いします。
- コロナ禍から公民館活動が再開するも、以前と同じようには戻らないと思われることから、新しい活動のあり方を探りながら前進していただきたい。

### 【公民館整備事業】

- 分館の整備が進み、地域の方々が快適に利用できることを願っています。



### 【放課後子ども教室推進事業】

- スマホやタブレットに向かう子どもが増える中、地域社会で異世代と交流したりなど、大人が設定しないと難しい時代だと思います。今だから必要な事業ではないかと思いますので、是非、継続できるようにお願いします。
- 地域の特色を活かしながら、子どもたちの社会性や自然体験の大事な機会として、引き続き工夫して実施していただきたい。

### 【教育委員会事務局管理事業】

- 昨年度は検討会議、本年度からは検討委員会が設けられ、部活動指導の地域移行に関する検討が行われているようである。検討を十二分に行っていただき、逐次市民にその内容の公表を行い、かつ意見聴取の場も設けていただきたい。こうして、市民の知恵を集め、持続可能性を持った取り組みを構想してもらいたい。

特に地域クラブでの活動は受益者負担を前提としていることについては、今後、何らかの補助等を考えていく必要があるかと思われる。日本の学校教育、特に前期中等教育における部活動の意義として、多様なスポーツ・文化活動を行う機会を、安価に幅広く提供してきたことが挙げられる。経済的格差が学びの差につながらないような手立てが引き続き必要と考える。

また、検討委員会の議論では、引き続き土日も教員が指導を続けたい場合の方策として、兼職・兼業が挙げられている。特に中学校では、部活動の指導を志望動機の一つとして就職した経緯がある教員が現在も多く見られると思われる。そこに兼業・兼職の仕組みが上手に機能するように設計がされることを願う。特にボランティアで指導することが「強いられ」ないようにしてもらいたい。

さらに、地域での指導者の研修が十二分に求められる。子どもとの接し方にも留意し、体罰等がないように、部活動の範疇を外れても、そこには学校と連携した「教育的意図」の共有が求められよう。

- 中学校部活動の地域移行については、検討会議で検討を進め、HPや学校で説明しているとのことですが、学校関係者に限らず興味を持っている案件ですので、今後ともきめ細かく丁寧な説明を行い、理解が深められることを願っております。

## V 令和4年度

### 教育委員会の点検・評価対象事務事業

評価調書総括表

1 評価

担 当		担 当 事業数	評 価				
課 (室)	係 等		A	B	C	D	計
学校教育課	教育総務係	3	(33.3%) 1	(66.7%) 2			(100.0%) 3
学校教育課	学事係	5	(20.0%) 1	(80.0%) 4			(100.0%) 5
学校教育課 指導推進室	指導係	4	(25.0%) 1	(50.0%) 2	(20.0%) 1		(100.0%) 4
生涯学習課	生涯学習係	2		(100.0%) 2			(100.0%) 2
生涯学習課	歴史文化係	3	(100.0%) 3				(100.0%) 3
生涯学習課	慈恩寺振興係	1		(100.0%) 1			(100.0%) 1
生涯学習課	文化センター事業管理係	2	(50.0%) 1	(50.0%) 1			(100.0%) 2
生涯学習課	中央公民館	2		(100.0%) 2			(100.0%) 2
生涯学習課	図書館業務係	2		(100.0%) 2			(100.0%) 2
スポーツ振興課	スポーツ振興係	3		(100.0%) 3			(100.0%) 3
計		27	(25.9%) 7	(70.4%) 19	(3.7%) 1	0	(100.0%) 27

※表中、( ) 書きは、達成度各区分の比率を示す。

2 方向性

担 当		担 当 事業数	方 向 性					計
課 (室)	係 等		拡充	継続	縮小	見直し	休廃止	
学校教育課	教育総務係	3		(100.0%) 3				(100.0%) 3
学校教育課	学事係	5	(20.0%) 1	(80.0%) 4				(100.0%) 5
学校教育課 指導推進室	指導係	4	(25.0%) 1	(75.0%) 3				(100.0%) 4
生涯学習課	生涯学習係	2		(100.0%) 2				(100.0%) 2
生涯学習課	歴史文化係	3	(33.3%) 1	(66.7%) 2				(100.0%) 3
生涯学習課	慈恩寺振興係	1		(100.0%) 1				(100.0%) 1
生涯学習課	文化センター事業管理係	2		(100.0%) 2				(100.0%) 2
生涯学習課	中央公民館	2		(100.0%) 2				(100.0%) 2
生涯学習課	図書館業務係	2		(100.0%) 2				(100.0%) 2
スポーツ振興課	スポーツ振興係	3	(33.3%) 1	(66.7%) 2				(100.0%) 3
計		27	(14.8%) 4	(85.2%) 23	0	0	0	(100.0%) 27

※表中、( ) 書きは、方向性各区分の比率を示す。

◆ 事業の評価(自己評価の基準等)

※区分の該当するものを事業の評価(自己評価)へ記載してください。

視 点		区 分		基 準 等
① 有効性	期待された成果(アウトカム)は得られたか(目標に対して事業が有効か)	a	期待を上回る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標とすべき姿と事業の成果を比較し、当初の目的が達成されているか。</li> <li>・目標値に対する達成率により以下の基準で判断する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>a : 達成率100%以上</li> <li>b : 達成率80%以上、100%未満</li> <li>c : 達成率70%以上、80%未満</li> <li>d : 達成率60%以上、70%未満</li> <li>e : 60%未満又は今後向上の見込みなし</li> </ul> </li> <li>・目標値が設定されていない場合には、事業の状況等を勘案したうえで、上記に準じて判定する。</li> </ul>
		b	期待どおり	
		c	概ね期待どおり	
		d	期待を下回る	
		e	効果が少ないか又は向上の見込みなし	
② 必要性	事業ニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化)	a	増 加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の事業を取り巻く状況(法制度の改正、社会的ニーズの変化、経済情勢の変化等)から見て、事業実施後のニーズに変化があるか。また、担当課等でアンケートなどで調査している場合、調査結果(満足度、重要度など)を事務事業点検・評価調書の「5」に記載すること。</li> </ul>
		b	横ばい	
		c	減 少	
		d	かなり減少	
	市(行政)の関与は必要か(市が関与する範囲は適切か)	a	【市(行政)の関与は】 必要あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が関与する範囲は適切か、見直す余地がないか。</li> <li>・市が関与を縮小し、関係機関、関係団体、民間等に移行することは可能か。</li> <li>・改善(質・量的改善等)をすることがあれば、事務事業点検・評価調書の「今後の対応」に記載すること。</li> </ul>
		b	当面は必要	
③ 効率性	効率性を高める余地はないか(効率的に実施できたか)	a	余地なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投入資源(予算・人員)を縮小することは可能か。</li> <li>・効率的な執行を工夫できる余地はないか。</li> <li>・改善(質・量的改善等)をすることがあれば、事務事業点検・評価調書の「今後の対応」に記載すること。</li> </ul>
		b	当面は余地なし	
		c	余地あり	
④ 公平性	公平性を見直す余地はないか(事業の効果は公平に配分されたか)	a	余地なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業効果が一部に限定されることなく、全ての対象者・受益者が事業の恩恵を受けられるか。</li> <li>・受益者負担を求めている状況は適切であるか。</li> <li>・改善(質・量的改善等)をすることがあれば、事務事業点検・評価調書の「今後の対応」に記載すること。</li> </ul>
		b	当面は余地なし	
		c	余地あり	
⑤ 総合評価 (自己評価)	A	予定以上の成果が認められ、事業対象者からの評価も高かった。		
	B	予定した成果が認められ、事業対象者から一定の評価があった。		
	C	予定していた成果は認められるものの、事業対象者の評価はあまり良くなかった。		
	D	予定していた成果はあまり認められず、事業対象者の評価も低かった。		
⑥ 事業の方向性	拡充、継続、縮小、見直し、休廃止			

◇ 点検・評価対象事業一覧

市教育振興計画における 基本方針	事業名	担当課	主要施策	ページ
【基本方針1】  豊かな心と健やかな体を育む	学校保健事業	学校教育課	1-2	19
	図書資料等購入事業	生涯学習課	1-4	20
	読書普及事業	生涯学習課	1-4	21
	芸術文化振興事業	生涯学習課	1-5	22
	美術館運営事業	生涯学習課	1-5	23
【基本方針2】  学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む	教育研究推進事業	学校教育課	2-1	24
	学力向上推進事業	学校教育課	2-1, 2	25
	教育支援推進事業	学校教育課	2-2	27
	障害児通学支援事業	学校教育課	2-2	29
	小中学校ICT活用支援事業	学校教育課	2-3	30
	ICT整備推進事業(小中学校)	学校教育課	2-3	31
	コミュニティ・スクール推進事業	学校教育課	1-1, 2, 3, 4 2-6 4-1, 2	32
【基本方針3】  生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する	寒河江さくらぼ大学推進事業	生涯学習課	3-1	34
	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	3-2	35
	体育施設整備事業	スポーツ振興課	3-2	37
【基本方針4】  ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切に する心を養う	地域スポーツ活性化推進事業	スポーツ振興課	3-2	38
	市史編纂事業	生涯学習課	4-2	39
	文化財保護庶務事業	生涯学習課	4-2	40
	史跡慈恩寺旧境内整備事業	生涯学習課	4-2	41
	郷土館保存事業	生涯学習課	4-2	42
【基本方針5】  教育を取り巻く環境や社会 の変化に応じた取組みを推 進する	学校職員衛生管理事業	学校教育課	5-1	43
	教育振興事業(小中学校)	学校教育課	5-1	44
	学校管理事業(小中学校)	学校教育課	5-2	45
	公民館活動事業	生涯学習課	5-3	46
	公民館整備事業	生涯学習課	5-3	47
	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	5-3	48
	教育委員会事務局管理事業	学校教育課	5-4	49

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校保健事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 2 健やかな体を育む取組みの推進 元気に遊ぶ子どもの育成	予算科目	10 教育費 2,3 小学校費、中学校費 2 学校保健費
実施年度	R4目標値: % R4実績値: % R4達成度: %		

## 2. 事業の概要

事業目的	児童生徒の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	児童生徒の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

## 3. 予算額・決算額

### (小学校費)

(単位:千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	15,977	補正額等	0	合計	15,977	決算額	15,049
R4	当初予算額	15,768	補正額等	0	合計	15,768	決算額	15,061

### (中学校費)

R3	当初予算額	7,634	補正額等	0	合計	7,634	決算額	6,960
R4	当初予算額	7,671	補正額等	0	合計	7,671	決算額	7,078

## 4. 事業の実施状況

(1) 児童・生徒検診 ①身体計測・内科・眼科・歯科各検診 ②耳鼻科検診 ③心電図検査 ④尿検査 ⑤貧血検査 (2) 環境衛生検査(飲料水、照度、ダニアレルゲン、プール水質検査)
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5. 事業の成果及び評価

児童生徒の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。
--------------------------------------------------------------------

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	b	b	b		

今後の対応	児童生徒の各種検診を実施し健康維持増進を図るとともに、環境衛生検査を実施し、良好な学習環境の整備に繋げる。
-------	-------------------------------------------------------

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	図書資料等購入事業	所管課・係	生涯学習課 図書館：業務係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 4 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 5 図書館費
実施年度	R4目標値： - 冊 R4実績値： 冊 R4達成度： %		

### 2. 事業の概要

事業目的	公立図書館に備えておくべき蔵書の整備を基本とし、図書資料等の充実を図る。
事業内容	1 一般図書や児童図書、視聴覚資料(DVD等)、雑誌について、「図書館資料選定要領」に基づき、計画的に購入する。 2 図書館の特色や利用者のニーズに対応しながら、蔵書の整備を進める。

### 3. 予算額・決算額

								(単位:千円 千円未満切上げ)	
R3	当初予算額	9,425	補正額等	0	合計	9,425	決算額	9,226	
R4	当初予算額	9,163	補正額等	0	合計	9,163	決算額	9,062	

### 4. 事業の実施状況

<p>◆図書館蔵書状況(令和5年3月末)</p> <p>1 一般書/108,084冊(前年度/107,969冊) 2 児童書/32,373冊(前年度/32,219冊) 3 視聴覚資料/2,732点(前年度/2,736点) 4 雑誌/3,463冊(前年度/3,551冊)</p>	<p>【参考】◆利用状況</p> <p>1 入館者数/76,736人(前年度/68,476人) 2 貸出者数/33,080人(前年度/30,363人) 3 貸出登録者数/14,993人(前年度/14,444人) 4 貸出冊数/143,424冊(前年度/139,254冊) 5 開館日数/329日(前年度/318日)</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 5. 事業の成果及び評価

1	乳幼児期からの読書習慣を推進するため、3カ月児健診時に配布するブックスタート絵本の購入や児童書、大型絵本の蔵書充実を図った。 [購入数] (1) ブックスタート絵本/620冊(前年度/600冊) (2) 児童書/928冊(前年度/999冊)
2	図書館に備えるべき図書資料の整備を基本とし、ニーズの高い新刊図書の購入に努めた。また、障がい者向けの図書や英訳図書の充実を図った。 [購入数] (1) 一般書/2,819冊(前年度/3,011冊) (2) 雑誌/813冊(前年度/850冊) (3) 視聴覚資料/19点(前年度/20点)
3	小中学校の担当教諭や教育活動推進員と連携し、学習や読書活動に必要な図書資料を購入し、学校での活用を図った。また、外国語 図書は、ALTが活用した。

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>b</b>	<b>a</b>	<b>b</b>	<b>b</b>		
今後の対応	1 各世代の利用者ニーズを的確に把握し、図書資料を継続的に購入していく。 2 障がい者向けの点字図書やLLブック(日本語が得意でない方や障がいのある方など、一般的な情報提供では理解が難しい方にとってもやさしく読みやすい本)の整備充実を図っていく。 3 小中学生の学習に資する図書資料を整備し、児童生徒の利用拡大を図る。 4 郷土に根ざした図書館として、慈恩寺やさくらんぼ、大江公に関する図書資料の充実を努める。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	読書普及事業	所管課・係	生涯学習課 図書館：業務係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 4 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 5 図書館費
実施年度	R4目標値： - % R4実績値： % R4達成度： %		

### 2. 事業の概要

事業目的	読書への興味と関心を促すため読書機会の提供と啓発に努め、魅力ある図書館づくりを進める。
事業内容	読書推進団体との連携を深め、図書館自主事業や図書推薦コーナー設置等を継続的に実施する。

### 3. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	3,085	補正額等	0	合計	3,085	決算額	1,466
R4	当初予算額	2,415	補正額等	0	合計	2,415	決算額	2,074

### 4. 事業の実施状況

◆主な定例事業◆	1 図書館ボランティアグループ4団体による「おはなし会」の開催(週1回または月1回) 2 市子育て推進課、健康福祉課と連携し「ブックスタート事業」を配本のみで実施(12回・261人へ配布[前年度/12回・279人へ配布]) 3 乳幼児と保護者を対象にした「絵本の部屋」を開催(30回・600人参加[前年度/23回・526人参加])
◆自主事業◆	1 さがえ図書館まつり (1) 夏まつり(7月26日(火)～8月21日(日))[前年度/7月21日(水)～8月25日(水)] (2) 秋まつり(10月25日(火)～11月13日(日))[前年度/10月26日(火)～11月21日(日)] 2 読書講演会(9月18日(日)・40人参加[前年度/新型コロナウイルス感染防止のため中止]) 3 人形劇団クスクス公演(10月5日(水)～6日(木)・両日で290人鑑賞[前年度/10月13日(水)～14日(木)・両日で269人鑑賞]) 4 山形の文学を探る ※令和3年度は1回のみ実施 (1) 寒河江の礎を築いた大江公の業績(11月20日(日)・21人参加[前年度/10月30日(土)・22人参加]) (2) 東京銀座で1冊だけの本を売る書店を営む店主の話(11月27日(日)・39人参加)
◆共催事業◆	1 第51回さくらんぼの都市(まち)さがえ全国俳句大会(表彰式：6月26日(日)・5,205投句[前年度/表彰式は新型コロナウイルス感染防止対策により中止・4,300投句])

### 5. 事業の成果及び評価

1	自主事業や図書館ボランティアグループの「おはなし会」、展示会をとおして図書館に足を運びきっかけを作ることができ、図書館に親しみをもってもらえた。
2	ブックスタート事業では、親子が絵本を介して触れ合うことによってより親子の親密感が高まり、絆が強くなった。
3	全国俳句大会では、全国から5千を超える投句があり、江戸時代から俳諧が盛んな寒河江市を全国へ発信することができた。

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>b</b>	<b>a</b>	<b>b</b>	<b>b</b>		
今後の対応	1 幅広い年代が参加できる自主事業をとおして図書館に足を運びきっかけを作り、読書への関心を促していく。 2 全国俳句大会は50回を超える歴史ある事業であり、毎年全国各地から多くの投句があることから継続実施し、さくらんぼのまち寒河江を全国へ発信することにより、寒河江市の認知度を高めていく。 3 図書館見学を継続的に受け入れ、図書館の魅力を見学者に感じてもらえるよう見学内容の要望に応じていく。					



## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	生涯学習課
施策体系	1 【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 5 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組みの推進 芸術文化に触れる機会の充実 芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造	文化センター事業管理係
教育振興計画		予算科目
実施年度	R7目標値: 90% R4実績値: 85.5% R4達成度: 95%	款 10 教育費
		項 4 社会教育費
		目 3 芸術文化振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	市民の芸術文化に対する資質向上と、芸術文化に携わる取組みの推進
事業内容	多くの市民が優れた芸術文化に触れるための自主事業の実施と、芸術文化団体の活動に対する支援

## 3. 予算額・決算額

							(単位:千円 千円未満切上げ)	
R3	当初予算額	15,831	補正額等	0	合計	15,831	決算額	12,445
R4	当初予算額	13,812	補正額等	0	合計	13,812	決算額	12,132

## 4. 事業の実施状況

(1)市民文化会館自主事業 ①第10回悠久の里慈恩寺コンサート 村治佳織 ギターのタペ/8月20日/前売り全席300枚完売も、出演者の健康上の理由により中止。②文化公演「能舞音楽劇『義経記』/10月1日/290人(チケット販売302枚) ③幼児演劇教室「長靴をはいたねこ」/10月20日・21日/657人(チケット販売573枚) (2)実行委員会、市民文化団体への支援 ①県美展寒河江移動展/10月12日～17日/来場者604名 ②寒河江市総合文化祭/11月1日～10日/来場者450名 ③寒河江市音楽祭/3月5日/来場者390名 (3)山形交響楽団に対する支援(県内他自治体とともに山形交響楽協会へ負担金を交付して活動を支援) (4)舞台づくり支援事業(舞台発表のレベル向上及び独創的かつ継続的な公演活動を支援) ①演奏力等向上支援事業 4回 ②発表会活動支援事業 3回
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5. 事業の成果及び評価

「慈恩寺コンサート」は出演者都合で中止となり残念であったが、前売り全席300枚完売しており、関心の高さが窺える。「文化公演会」「幼児演劇教室」は予定どおり実施できた。「文化公演会」については、入場者こそ予定を下回ったものの、NHKの大河ドラマで盛り上がりを見せた鎌倉時代ものとして、能舞・三味線演奏・朗読を交えた創作舞台により、市民はじめ遠方の若者も鑑賞し、歴史文化的価値の高い充実した公演となった。また、コロナ禍後、徐々に活動が再開された各種団体に対し、各種制度により支援することができた。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
c	b	b	b	c		
今後の対応	自主事業については、これまで継続してきた「一般向け」「幼児向け」などの区分けをさらに前進させ、例えば親子で鑑賞出来るものや若者向けの企画を取り入れるなど、新たな鑑賞層の取り込みも含めて実施していきたい。また、各種団体の支援も今後も進めていき、本市の芸術文化の意識の高揚を図っていく。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	美術館運営事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系 (教育振興計画)	1 【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
	5 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組みの推進 芸術文化に触れる機会の充実 芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造		4 社会教育費
実施年度	R7目標値: 8,500人 R4実績値: 10,773人 R4達成度: 127%	目	3 芸術文化振興費

### 2. 事業の概要

事業目的	優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、市美術館をとおして中心市街地の活性化を図るとともに、市民の芸術文化に対する関心と豊かな心を養い、寒河江のまちの品格を高める。
事業内容	多くの市民が優れた芸術文化に触れるための自主事業の実施と、芸術文化団体の活動に対する支援

### 3. 予算額・決算額

								(単位:千円 千円未満切上げ)	
R3	当初予算額	7,054	補正額等	0	合計	7,054	決算額	6,050	
R4	当初予算額	7,141	補正額等	0	合計	7,141	決算額	6,738	

### 4. 事業の実施状況

(1)特別企画展	アートツリーやまがたvol.11/2月4日～2月28日開催(24日間)/来場者772名
(2)美術館企画展	①写真家・長谷部康寛「ぼく色」/8月11日～8月29日開催(17日間)/来場者521名 ②鬼海弘雄写真展「ポルトガル、マルタ」/10月8日～10月23日開催(15日間)/来場者540名 ③寒河江在住 齋悠記展「statement」/1月8日～1月17日開催(10-日間)/来場者312名 ④色鉛筆画家 音海はる展2/3月11日～4月9日開催(29日間)/来場者6,921名
(3)寒河江市芸術文化協議会加盟団体等(教育委員会主催)	①埋文フェア/8月30日～9月10日開催(11日間)/来場者884名 ②各地区公民館写真展慈恩寺絵画コンクール/12月10日～1月3日開催(24日間)/来場者385名

### 5. 事業の成果及び評価

寒河江市美術館の運営については、年間を通して活発で効果的な展示により、多くの来館者を呼び込むことができた。県内でもなかなか開催されることの少ない若手作家の展示を実施し、特に色鉛筆画家「音海はる展2」においては、入場者が6,921人(令和3年度開催時4,113人)で大変な好評を博し、本市中心市街地の活性化にも貢献することができた。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>A</b>	<b>継続</b>
<b>a</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>b</b>	<b>b</b>		
今後の対応	地域に関連する作家の開拓を一層進めながら、美術館専門員の若手作家とのつながりを活かし、特色ある展示活動に取り組んでいく。					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育研究推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進 主体的な活動ができる力の育成	予算科目	款 10 教育費 項 1 教育総務費 目 4 教育研究所費
実施年度	R4目標値: 53.5 % R4実績値: 51.3 % R4達成度: 95.9 %	※ 標準学力検査(NRT)小学生	
実施年度	R4目標値: 52.5 % R4実績値: 51.6 % R4達成度: 98.3 %	※ 標準学力検査(NRT)中学生	
実施年度	R4目標値: 100 % R4実績値: 50 % R4達成度: 50 %	※ 全国学調で全国を上回った教科	
実施年度	R4目標値: 50 % R4実績値: 49.1 % R4達成度: 98.2 %	※ 英検3級以上の中3	

## 2. 事業の概要

事業目的	教職員の資質を向上させるとともに、児童生徒の学力の状況を把握し、学力の向上を図る。
事業内容	(1) 教育研究所を設置し、各研究部、研修部等における教職員の主体的な研修活動を行う。 (2) 学力検査や知能検査、学級集団状態調査を実施し、結果の分析を行うとともに、これに基づく学力向上対策や授業改善を実践する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	6,361	補正額等	0	合計	6,361	決算額	5,856
R4	当初予算額	6,353	補正額等	0	合計	6,353	決算額	5,911

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 学力検査・知能検査・学級集団実態調査</p> <p>①小2～中3における教研式NRT学力検査の実施(国語及び算数・数学:全学年、理科:小4以上、社会:小6以上、英語:小6以上)</p> <p>②小2、4、6、中1における知能検査の実施</p> <p>③中1～中3における学級集団実態調査の実施(年1回)</p> <p>④小5、中2における市学力調査(総合学力調査)の実施(国語、算数・数学)</p> <p>(2) 教育研究所</p> <p>①研修部 18部会(陵東学区6部会、陵南学区7部会、陵西学区2部会、養護教諭部会、学校事務部会、学校栄養職員部会)各2回</p> <p>②学力向上対策委員会</p> <p>○学力対策委員会の開催(9月・1月) ○市内各小・中学校の学力向上に向けたアクションプランの作成と情報共有</p> <p>○令和の日本型学校教育の構築を目指したICTの活用</p> <p>③公開研究会</p> <p>○中学校区ごと1校ずつ公開を行った。(西根小、寒河江中部小、高松小)</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5. 事業の効果及び評価

各種学力検査委の結果
(1) 数研式NRT 小学校全体偏差値 51.3(R3:52.3) 中学校全体偏差値 52.3(R3:52.7)
(2) 市学力調査業者テスト 小5平均偏差値 国語 48.8 算数 49.2
中2平均偏差値 国語 51.4 数学 51.6

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	C	継続
b	b	a	c	c		
今後の対応	各種学力調査の結果を分析し、授業づくり、指導改善につなげることができるように、令和5年度は、市学力調査の分析会を実施する。公開研究会及び各学校の校内授業研究会において、適切な指導・助言を行う。					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学力向上推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 特別支援教育の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費
実施年度	R4目標値:       %   R4実績値:       %   R4達成度:       %		

## 2. 事業の概要

事業目的	個に応じたきめ細やかな学習支援を行い、児童生徒に確かな学力を身につけさせるために、学校の状況に応じて支援員を配置し活用する。
事業内容	児童生徒の「読解力」と「英語力」を育成するために、リーディングスキルテストやGTEC(スコア型英語4技能テスト)を実施し、検査結果をもとに、指導改善を図る。 児童生徒の学力・生活力向上を図るため、学力向上支援員、特別教育支援員、教育活動支援員、外国語指導助手、外国語指導支援員を配置、派遣する。

## 3. 予算額・決算額

							(単位:千円 千円未満切上げ)	
R3	当初予算額	94,522	補正額等	0	合計	94,522	決算額	82,363
R4	当初予算額	100,990	補正額等	0	合計	100,990	決算額	90,145

## 4. 事業の実施状況

(1)読解力育成 ①リーディングスキルテスト 4月、中学1年生並びに一部の教員を対象にテストを実施。 課題研究部会にて、結果を分析し、児童生徒の読解力向上と日々の授業改善を図った。
(2)英語力育成 ①GTEC 中学生の英語力を把握するために、中学校第2学年におけるGTEC(英語4技能試験)を10月に実施した。 事前事後の研修会のため、英語教育推進会議(6・2月)を開催した。 ②イングリッシュ・デイ 1日英語だけで過ごす「English Day」事業……8月4・5日、幸生小を会場に実施。
(3)学力向上支援員 ①配置人数 12校 12名(各小中学校に1名ずつ) (R3 19名) ②業務内容 担任による学習指導の補助。学習内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成のための個に応じたきめ細やかな学習支援。担任と協働した学習指導や探究的な学習活動の効果的な推進 ③勤務体制 年間210日程度(授業日)、学校の実情等に応じて4~6時間の勤務
(4)特別教育支援員 ①配置人数 10校 15名 (R3 8名) 寒河江小(2名)、寒河江中部小(2名)、南部小(2名)、西根小(1名)、柴橋小(1名)、醍醐小(1名)、白岩小(1名)、三泉小(1名)、陵東中(2名)、陵南中(2名)、陵西中(2名) ②業務内容 通常学級や特別支援学級における個別の支援が必要な児童生徒への学習及び生活上の支援 ③勤務体制 年間210日程度(授業日)、学校の実情等に応じて4~6時間の勤務
(5)教育活動支援員 ①配置人数 12校 15名 (R3 15名) 寒河江小(1名)、寒河江中部小(2名)、南部小(1名)、西根小(1名)、柴橋小(1名)、高松小(1名)、醍醐小(1名)、白岩小(1名)、三泉小(1名)、陵東中(2名)、陵南中(1名)、陵西中(2名) ②業務内容 児童生徒への読書指導及び図書選定の助言、図書室の整備、学習支援 その他児童生徒の読書活動推進のための業務(読み聞かせ、ブックトーク、ビブリオバトル、読書推進講座)事務補助(中学校は、給食配膳業務を兼ねる) ③勤務体制 1日6時間、年間240日程度の勤務
(6)外国語指導助手(ALT)・外国語指導支援員(AET) ①派遣人数 ALT……5名(R3 3名) AET……2名(R3 2名) ②派遣体制 ALT……中学校に常駐(陵東中1名、陵南中2名、陵西中1名、学校教育課1名)、小学校にも派遣 AET……小学校に派遣 ③業務内容 小中学校の外国語の授業の支援、英語教育推進会議のサポート、イングリッシュ・デイの企画運営

5. 事業の効果及び評価

(1)リーディングスキルテストの結果(中1)

特に、文書の基本構造を把握する力(係り受け解析)、代名詞などが指す内容を認識する力(照応解決)に課題があることがわかった。各教科の学習において、教科書を解像度高く読み取ることを意識して授業改善を図った。

(2)GTECの結果(中2)

- ①TOTAL 377.3(A1.2) (R3 376.5 A1.2 R2 366.7 A1.1)
- ②READING 82.0(A1.2) (R3 74.8 A1.1 R2 75.1 A1.1)
- ③LISTENING 82.6(A.1.1) (R3 94.4 A1.2 R2 78.5 A1.1)
- ④WRITING 133.1(A1.2) (R3 122.7 A1.2 R2 134.6 A1.2)
- ⑤SPEAKING 79.3(Pre-A1) (R3 83.5 A1.1 R2 77.6 Pre-A1)

受検した生徒が異なるが、令和2年度からの取り組みにより、TOTALスコアの上昇が見られた。4技能のうち、LISTENING, SPEAKINGに課題があるため、授業中にALTのネイティブな英語に触れる機会、生徒が英語で発話する機会を意識した授業改善が必要である。

(3)English Day

小中学生が、8/4:42名(大雨のため中止)、8/5:32名、計74名が申し込んだ(R3:61名、R2:中止、R1:26名、H30:25名、H29:15名)。参加希望者の増加に伴い、2日間での開催を企画した。ALT(5名)・AET(1名)・教員(7名)・ボランティア(4名)と、様々な英語の活動に取り組んだ。

(4)各種支援員(会計年度任用職員)の配置

学校の実態に合わせ、各種支援員を配置し、児童生徒の学習・生活の支援、教員の業務支援を行った。

◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
c	b	a	b	c		
今後の対応	令和5年度も、読解力、英語力の向上を目指した取り組みを継続する。特に、学力の基礎である読解力について、まるぐらんど(読み書きの認知特性に配慮したICT学習教材)を小学校2年生に導入し、小学校期からの読解力の向上を図る。また、学力向上支援員、特別教育支援員の配置基準、業務内容の改善を図り、国、県の施策と連携した事業を展開する。(R5予算 102, 942)					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育支援推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費
教育振興計画	2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 教育相談機能の充実		
実施年度	R4目標値: % R4実績値: % R4達成度: %		

## 2. 事業の概要

事業目的	不登校をはじめとする、学校や保護者からの教育相談に対応するとともに、不登校児童生徒の学校への復帰を図る。
事業内容	児童生徒の教育問題に関し指導助言を行い、児童生徒の健全な心身の発達に資するため、教育相談員、訪問相談員を配置する。 不登校児童生徒に対して、集団生活の適応力と精神的・社会的自立を図るため、適応指導教室を運営し、学習支援・訪問相談を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	7,659	補正額等	0	合計	7,659	決算額	4,369
R4	当初予算額	8,245	補正額等	0	合計	8,245	決算額	6,090

## 4. 事業の実施状況

(1) 教育相談室の概要

① 相談員の配置: 教育相談員5名(うち、訪問相談員2名)

② 相談の件数: ○学校 来室相談 124件(R3:40)、電話相談 118件(R3:148)  
(延べ) ○保護者 来室相談 46件(R3:85)、電話相談 123件(R3:160)、家庭訪問 111件(R3:119)

(2) 寒陵スクールの概要

① 在籍児童生徒(年度末): 計24名(小学生11名、中学生13名) R3:12名(小学生3名、中学生9名)

② 開設日数(勤労青少年ホーム): 208日(R3:208日)

③ その他: 長期休業中の学習、体験活動(遠足・調理実習・クリスマスリース作り)、個人面談、保護者懇談会を実施

(2) 不登校予防研修会

① 参加対象者: 小学校低学年の学級担任(悉皆研修、希望者)

② 開催期日: 4/26、6/14、7/15、9/29、11/28、2/15 計6回

③ 講師: 花輪 敏男 氏(FR教育臨床研究所 所長)

## 5. 事業の効果及び評価

(1) 令和4年度の不登校による年間30日以上欠席者  
小学生25名(R3:15名)、中学生59名(R3:48名)

(2) 寒陵スクール在籍児童生徒進路状況  
中3(4名)の内、1名は公立高校、3名は私立高校に進学した。

(3) 寒陵スクール・訪問相談では、心に寄り添った相談を通して、本人や保護者の心の安定を図ることができた。  
学校・保護者・相談員が情報を共有することで、児童の学校出席につながっていくケースもみられた。

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	A	拡充
b	a	a	a	b		

<p>今後の対応</p>	<p>(1)不登校児童生徒、寒陵スクール在籍児童生徒数の増加に対応するため、教育相談員を1名増員する。訪問相談員を教育相談員に変え、全ての教育相談員が、寒陵スクールの運営、訪問相談の両方に対応できるようにする。  (2)不登校の未然防止・早期対応の観点から、SOSの出し方・受け止め方教育を普及させるとともに、魅力的な学校づくりを目指した「学級づくり」「授業づくり」の実践について年間計6回の研修を行う。  (R5年度予算 9,512千円)</p>
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	障害児通学支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 特別支援教育の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費
実施年度	R4目標値: % R4実績値: % R4達成度: %		

## 2. 事業の概要

事業目的	障がいにより自力通学が困難で、かつ保護者による送迎も困難な児童生徒の学習参加の利便向上と保護者の負担軽減を図る。
事業内容	登校時または下校時のタクシー送迎を市内タクシー会社に委託し、通学支援を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	1,926	補正額等	0	合計	1,926	決算額	1,321
R4	当初予算額	2,293	補正額等	0	合計	2,293	決算額	1,254

## 4. 事業の実施状況

(1) 実施	登校時または下校時のタクシー送迎による通学支援
(2) 利用状況	小学校: 7校、10、延べ 721回 (R3 6校、7名、延べ 831回) 中学校: 2校、3名、延べ 218回 (R3 3校、4名、延べ 479回) 合計: 9校、13名、延べ 939回 (R3 9校、11名、延べ 1310回)

## 5. 事業の効果及び評価

<p>家庭、学校及びタクシー会社が連携し、個々に応じた支援体制を整えたことで、障がいのある児童生徒の就学の適正化が図られ、保護者の負担軽減に繋がっている。また利用の開始時には、保護者と十分な打ち合わせを行い、児童生徒が安心して利用できる環境づくりに努めた。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	b	b	b		
今後の対応	令和5年度より、条件付きで登下校往復での支援が出来るようになったが、条件をなくして登下校往復での予算を要求していく。					



# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	小中学校ICT活用支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 これからの時代を見据えた「教育の情報化」の推進 情報活用能力の育成 ICTを活用した教育の推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費
実施年度	R4目標値: 100% R4実績値: 100% R4達成度: 100%		

## 2. 事業の概要

事業目的	ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。また、子どもたちがICTを正しく活用できる力を養えるよう支援する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システムの運用</li> <li>・GIGAスクールタブレット支援員による各学校での教職員への支援事業</li> <li>・ICT機器の購入及び保守点検</li> <li>・GIGAスクールタブレットを活用し、ICT教育の充実を図った。</li> <li>・さくら連絡網(デジタル配信)。</li> </ul>

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	26,323	補正額等	0	合計	26,323	決算額	25,934
R4	当初予算額	26,296	補正額等	0	合計	26,296	決算額	26,182

## 4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校におけるICT関連機器の不具合等に迅速に対応するため、保守点検の委託業務を実施。</li> <li>・教職員のGIGAスクールタブレット活用支援のため外部委託でサポート窓口を設置し、支援員を各学校に派遣し教職員への支援事業を行った。</li> <li>・校務支援システムを全小中学校に導入。</li> <li>・電子黒板を中学校に設置した。</li> <li>・GIGAスクールタブレットの不具合や修理・保険対応のサポート窓口を設置。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5. 事業の効果及び評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGAスクールタブレット支援員による各学校での教職員支援事業を行い、ICT教育の充実を図った。</li> <li>・GIGAスクールタブレットによる、双方向型授業及びミライシードASP版の活用を可能とした。</li> <li>・電子黒板の導入により、授業等での使用がより容易になった。</li> <li>・さくら連絡網を活用し、各種お便り、緊急連絡、出席確認、検温等、学校と保護者間での連絡が容易になった。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	b	b	b		
今後の対応	全児童生徒へのタブレットが導入され、授業での使用はもちろん、家庭学習や、一部小学校ではオンラインによる「家庭訪問」としての使用がなされる。「学校だより」等の配布物も、さくら連絡網を活用してデータ配信しているが、さらに活用を図っていく。					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	ICT整備推進事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 これからの時代を見据えた「教育の情報化」の推進 情報活用能力の育成 ICTを活用した教育の推進	予算科目	10 教育費 2,3 小学校費、中学校費 3 教育振興費
実施年度	R4目標値: 100% R4実績値: 100% R4達成度: 100%		

## 2. 事業の概要

事業目的	ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。小中学校における情報教育を円滑に行えるよう、パソコン機器や電子黒板等の整備充実を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の授業用パソコンの整備。</li> <li>・授業等で使用する電子黒板の整備。</li> <li>・校務用(職員室等)パソコンの整備。</li> </ul>

## 3. 予算額・決算額

### (小学校費)

(単位:千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	32,881	補正額等	0	合計	32,881	決算額	32,713
R4	当初予算額	50,428	補正額等	0	合計	50,428	決算額	46,188

### (中学校費)

R3	当初予算額	12,878	補正額等	0	合計	12,878	決算額	12,606
R4	当初予算額	13,979	補正額等	0	合計	13,979	決算額	12,350

## 4. 事業の実施状況

<p>小学校パソコン機器等(リースにて整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○パソコン 児童用デスクトップPC195台、児童用ノートPC58台、教師用デスクトップPC21台、電子黒板用PC25台、校務用PC180台</li> <li>○プリンター A3モノカラー3台、A3カラーレーザー10台、A4モノカラー10台、A4カラーレーザー6台、A3カラーインクジェット複合機3台、A3カラーインクジェット3台</li> <li>○電子黒板等 電子黒板(大型モニター等含む)71台、プロジェクター10台</li> <li>○その他 ルータ、ファイヤーウォール、スイッチ等</li> </ul> <p>中学校パソコン機器等(リースにて整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○パソコン 生徒用デスクトップPC60台、生徒用ノートPC50台、教師用デスクトップPC6台、電子黒板用PC15台、校務用PC100台</li> <li>○プリンター A3モノカラー3台、A3カラーレーザー複合機3台、A3カラーレーザー5台、A4モノカラー10台、A3カラーインクジェット複合機2台、A3カラーインクジェット3台</li> <li>○電子黒板等 電子黒板(大型モニター等含む)36台、プロジェクター3台</li> <li>○その他 ルータ、ファイヤーウォール、スイッチ等</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5. 事業の効果及び評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン機器等は、基本的に5年間のリース契約にて整備、更新している。</li> <li>・全児童へタブレットが配布され、さらに効果的な活用ができるよう、普通教室配置の電子黒板を増設した。(R3 10台)→R6まで全普通教室への設置完了予定。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	A	拡充
a	b	b	b	b		
今後の対応	授業及び家庭学習において1人1台タブレットパソコンを活用していく。あわせて、パソコン教室等設置の児童生徒用パソコンは、リース満了分から撤去していく。					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	コミュニティ・スクール推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係	
施策体系	<b>【基本方針1】</b> 豊かな心と健やかな体を育む 1 思いやりの心を育み、命や生き方を大切にする教育の推進 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の確立 学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進 2 健やかな体を育む取組みの推進 元気に遊ぶ子どもの育成 3 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 4 心を育む読書活動の推進 自主的な読書活動の支援 <b>【基本方針2】</b> 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 6 キャリア教育の推進 社会的・職業的自立に向けた教育の推進 <b>【基本方針4】</b> ふるさとの誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進 1 ふるさとの愛情と誇りを育む教育の推進 地域の歴史や文化、自然を活用した教育活動の推進 2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進 民俗芸能や伝統行事の保護と伝承	予算科目	款 10 教育費 項 1 教育総務費 目 3 教育指導援助費	
		教育振興計		
		実施年度	R4目標値: 100 % R4実績値: 98.3 % R4達成度: 98.3 %	※ 全国学調「いじめはいけない」小6
		実施年度	R4目標値: 100 % R4実績値: 97.7 % R4達成度: 97.7 %	※ 全国学調「いじめはいけない」中3
実施年度	R4目標値: 100 % R4実績値: 100 % R4達成度: 100 %	※ コミュニティ・スクールの導入率		
実施年度	R4目標値: 105 % R4実績値: 102.6 % R4達成度: 97.7 %	※ 全国体力・運動能力調査 小5男		
実施年度	R4目標値: 105 % R4実績値: 105.2 % R4達成度: 100 %	※ 全国体力・運動能力調査 小5女		
実施年度	R4目標値: 105 % R4実績値: 96.8 % R4達成度: 92.2 %	※ 全国体力・運動能力調査 中2男		
実施年度	R4目標値: 105 % R4実績値: 94.4 % R4達成度: 89.9 %	※ 全国体力・運動能力調査 中2女		
実施年度	R4目標値: 100 % R4実績値: 95.3 % R4達成度: 95.3 %	※ 全国学調「朝食摂取率」小6		
実施年度	R4目標値: 100 % R4実績値: 94.8 % R4達成度: 94.8 %	※ 全国学調「朝食摂取率」中3		

## 2. 事業の概要

事業目的	児童生徒がふるさとを知り、学び、体験し、郷土を愛する心を育む教育活動並びにふるさとの未来を担う児童生徒に豊かな心や健やかな体を育む教育活動を支援する
事業内容	学校・家庭・地域の連携協働の一層の推進を図るため、各学校にコミュニティ・スクールの導入、地域学校協働活動推進員の配置、学校の実態に合わせた補助金を交付する。 地域おこし推進員を事務局とする「さがえ未来コンソーシアム」を構築し、各学校のコミュニティ・スクール間の連携や企業・大学・芸術文化・福祉・スポーツ・観光・ボランティアなど各種団体との連携協働を推進する。

## 3. 予算額・決算額

R3: 特色ある学校づくり推進事業、さがえっこ育み推進事業、さがえっこライフデザインセミナー事業

(単位: 千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	16,021	補正額等	0	合計	16,021	決算額	10,512
R4	当初予算額	22,073	補正額等	0	合計	22,073	決算額	17,191

## 4. 事業の実施状況

### (1) 学校・家庭・地域連携協働

- ① 市内12の小中学校でコミュニティ・スクールを導入(R3 10校)。
- ② 各小中学校に地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)を12校に15名配置(10校に12名)。
- ③ 地域コーディネーター連絡協議会 年6回
- ⑤ 各小中学校に地域学校協働本部を設置し、地域住民が学校を支援する学校支援ボランティア活動を推進  
※ 学校支援ボランティアの年間延べ実績人数 26,463人(R3 48,592人)

### (2) さがえ未来コンソーシアム

- ① 中学生職業体験学習の受け入れ事業所のリスト化 120社(内新規事業所30社) (R3 90社)
- ② 企業・事業所ライブラリーのデータベース化(HP) 40社
- ③ さがえ少年少女発明クラブの立ち上げ(県内8番目)・運営  
クラブ員: 39名(県内最多) 指導員: 12名 活動: 8回(半年) 協賛企業: 24社

### (3) 部活動指導員の配置

- ① 部活動指導員を各中学校に1名ずつ配置し、部活動中の生徒の安全確保とともに、アドバイスによる技術向上につなげた。



## 5. 事業の効果及び評価

- (1)各学校では、趣旨に基づいて本事業を有効に活用し、学校における学校・家庭・地域の連携協働推進活動を計画し展開した。  
 (2)予算については、適正かつ有効な配分になるように、学校規模や児童生徒数だけでなく、提出された事業計画を十分に精査し、事業の重要度や必要性等を考慮しながら配当した。  
 (3)さがえ未来コンソーシアムを構築し、キャリア教育・創造性開発・ふるさと学習・サポーター育成の各分野において、学校と地域や企業をつなぐ学習プログラムの開発と実践を行った。

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	a	b	b	b		
今後の対応	令和5年度も、寒河江市の未来を担う児童生徒を育成するため、学校・家庭・地域の連携協働推進活動、さがえ未来コンソーシアム構想、部活動指導員配置事業をさらに推進していく。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	寒河江さくらんぼ大学推進事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する	予算科目	10 教育費
	1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進 生涯を通じた学習機会の充実 共に学び合う体制づくり		4 社会教育費
実施年度	R7目標値: 900人 R4実績値: 444人 R4達成度: 49.3%	目	4 公民館費

### 2. 事業の概要

事業目的	生涯学習及び交流の場として、中央・地区公民館をつないだ誰もが自己実現のため生き生きと学び、学びを通じた触れ合いで人と人がつながり、学びの成果が地域で輝き、まちを育てるための「市民大学」を開設する。
事業内容	(1) 中央公民館と4つの地区公民館をキャンパスとした講座を実施する。 (2) ニーズに合った講座内容を選定し、著名人や地域で活躍する方などを講師として幅広く選定する。 (3) 講座の実施に当たっては、受講生による運営委員が主となり自主的な運営を進めていく。

### 3. 予算額・決算額

							(単位:千円 千円未満切上げ)	
R3	当初予算額	2,802	補正額等	0	合計	2,802	決算額	260
R4	当初予算額	2,002	補正額等	700	合計	2,702	決算額	2,256

### 4. 事業の実施状況

<p>(1)開催時期/8月6日～1月14日 全体受講者136名(定員150名)/7学部(1大学院を含む)を実施</p> <p>(2)講座内容</p> <p>①大学院「慈恩寺の歴史専攻科」&lt;中央キャンパス&gt;/18名受講(定員20名)</p> <p>②with地球・未来・創造学部&lt;中央キャンパス&gt;/20名受講(定員20名)</p> <p>③歴史探検学部&lt;中央キャンパス&gt;/30名受講(定員30名)</p> <p>④アクション功学部&lt;東部キャンパス&gt;/20名受講(定員20名)</p> <p>⑤地域文化学部&lt;南部キャンパス&gt;/12名受講(定員20名)</p> <p>⑥ふるさと匠の技学部&lt;柴橋キャンパス&gt;/16名受講(定員20名)</p> <p>⑦地域発見学部&lt;西部キャンパス&gt;/20名受講(定員20名)</p> <p>他に9月23日に特別公開講座を開催/講師:紺野美沙子氏(230名受講)</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 5. 事業の成果及び評価

<p>平成26年度から開催している「寒河江さくらんぼ大学」は、令和2年度の全面中止を除き8回目の開催となった。また、令和2年度は2学部のみ縮小開催であったので、三年ぶりの7つの全学部体制での開催となった。また新型コロナウイルスの感染拡大が心配される状況の中、受講者数の制限や感染対策の徹底を図って実施した。特に中央キャンパスにおいて、持続可能な社会づくりを考える「with地球・未来・創造学部」を新設したところ、意識の高い受講生が定員を満了し、そうした分野の必要性を感じさせられた。また、大学院「慈恩寺の歴史専攻科」では受講の成果をレポート集にまとめ上げたほか、「with地球・未来・創造学部」及び「歴史探検学部」の最終回には、学習成果を述べてもらうワークショップを設け、受講者の熱心な盛り上がりが見られた。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>		
今後の対応	他の市町村では、こうした一般対象の講座も行っていないところもある中、市外からも定評を得ており、今後も地域について理解を深め、学びの意識を高めるこうした講座を継続していく必要がある。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	生涯スポーツ振興事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系  教育振興計	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する	予算科目	10 教育費
	2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組みの推進		5 保健体育費
	誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進 競技力向上の推進		1 保健体育総務費
実施年度	R4目標値:       %   R4実績値:       %   R4達成度:       %		

### 2. 事業の概要

事業目的	市民一人ひとりが、いつでもスポーツに親しむことができる社会環境の実現を目指す。
事業内容	(1)指定管理者やスポーツ団体等と連携し、更に支援を行いながら、年間を通じた体育施設の利用促進による多様なスポーツの振興を図る。 (2)ライフステージやニーズに応じた生涯スポーツの振興を図るため、各種大会・教室等を開催及び支援する。

### 3. 予算額・決算額

(単位: 千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	8,795	補正額等	0	合計	8,795	決算額	7,559
R4	当初予算額	9,331	補正額等	0	合計	9,331	決算額	8,311

### 4. 事業の実施状況

市スポーツ推進委員との連携、(一社)市スポーツ協会への事業委託等により、多彩なスポーツ教室や講座等を開催し、多くの市民にスポーツに親しむ機会を提供することを目指したが、前年に引き続き、コロナ禍のため多くの事業や活動等の制限を余儀なくされた。また、市スポーツ協会共催大会の半分以上が中止になるなど、各種大会の開催や競技力向上に係る支援等についても、限定的なものとなった。

(1)生涯スポーツ推進事業

- ①市スポーツレクリエーション祭 ※一部縮小分散開催(271名) (R3: 294名/ R2: 390名/ R1: 586名)
- ②市民スキー教室 ※一部縮小開催(35名) (R3:35名/ R2:事業中止/ R1: 114名)
- ③ちびっこスポーツ教室 (19回,506名) (R3: 18回,367名 R2: 20回,534名/ R1: 20回,503名)
- ④ジュニアスポーツ教室 (22回,726名) (R3: 24回,474名/ R2: 20回,597名/ H31: 20回,366名)
- ⑤成人スポーツ講座(ゴルフ教室) (18回,328名) (R3: 20回,404名/ R2: 20回,289名/ R1: 20回,353名)
- ⑥ボルダリング教室 (1回,47名) ※新規事業
- ⑦モルック体験会 (5回,217名) ※新規事業

(2)ニュースポーツ出前事業 (10回,5種目,200名) (R3 :6種目,3種,195名/ R2: 2回,3種,39名/ R1: 6回,7種,390名)

(3)スポーツ少年団育成事業 (指導者,育成母集団研修会 27名) (R3: 1回,43名/ R2: 1回,71名/ R1: 1回,69名)

(4)市スポーツ(体育)協会育成事業 (表彰,激励事業※授与式及び講演会(中止)、モンテディオ支援事業、スポ少活動支援事業他)

(5)楽天イーグルスアカデミーベースボールクリニック (1回,33名) ※新規事業

(6)サガエ3×3(バスケットボール競技) (1回,クリニック参加:60名 /トーナメント参加:81名) ※新規事業

### 5. 事業の成果及び評価

(1)生涯スポーツ推進事業等については(一社)市スポーツ協会が担い、ニュースポーツ出前教室等については市スポーツ推進委員会が主に担当し、それぞれの組織の持ち味を活かした活動を行った。コロナによる制限が減少したため、前年度中止とした事業の再開や、少人数・分散開催等を行ったことに対しては良好な評価を得ている。

(2)スポーツに親しむ機会を市民に対し数多く提供することで、市民の健康づくりやスポーツ人口の拡大を図るとともに、スポーツ大会等の開催を通じた競技力向上と指導者等の育成を図った。関連事業の継続や顕彰による市民の健康づくりや競技スポーツの活性化に繋がっている。

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>拡充</b>
<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>		

別記様式

今後の対応	<p>(一社)寒河江市スポーツ協会ほか関係組織との連携を深め、年齢や体力にかかわらず誰もが気軽にスポーツに親しめる事業を中心に、コロナ禍での新しい生活様式や新たなニーズにも対応しながら、市民の健康に繋げる生涯スポーツを推進する。</p> <p>部活動改革に関して、市スポーツ協会や関連団体と連携・協議しながら部活動指導への関与・支援等を検討していく。</p> <p>(R5予算 9,314千円)</p>
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	体育施設整備事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系	<b>【基本方針3】</b> 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する 2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組みの推進  スポーツ環境の整備と充実	予算科目	款 10 教育費
教育振興計画			項 5 保健体育費
実施年度	R4目標値:       %   R4実績値:       %   R4達成度:       %	目 1 保健体育総務費	

### 2. 事業の概要

事業目的	安全、快適で利用しやすい体育施設の整備を図る。
事業内容	(1)市民体育館等の利用環境を適正に維持するため、施設の改修等を計画的に行う。 (2)日常点検や専門業者の定期保守点検により、施設設備に起因する事故防止及び不具合等の早期発見に繋げる。

### 3. 予算額・決算額

							(単位:千円 千円未満切上げ)	
R3	当初予算額	4,521	補正額等	0	合計	4,521	決算額	3,993
R4	当初予算額	2,937	補正額等	0	合計	2,937	決算額	2,458

### 4. 事業の実施状況

体育施設整備について、次の整備・修繕等を行った。(指定管理者が行った修繕等を除く)	
① 市民プール配管漏水修繕	1,837,000 円
② 25mアルミプール本体漏水部修繕	297,000 円
③ 体育館2階コンクリート壁クラック修繕	262,350 円
R3 50mプール残留塩素濃度管理装置及びろ過装置取替修繕	2,398,000 円
R3 体成分分析装置備品整備(インボディ)	1,133,000 円
R3 体育館施設・設備修繕(外部手摺・通路ガラス)	462,000 円
R2 市民体育館ボイラー等更新工事	20,900,000 円
R2 屋内多目的運動場屋根雨漏り修繕	462,000 円

### 5. 事業の成果及び評価

(1)市民体育館等の適正な管理運営について、施設の修繕や備品整備等を計画的に行ったことにより、安全・快適に利用されている。しかしながら、25mプールの劣化が酷く何とか使える状態にするのが精一杯である。 (2)屋内多目的運動場の管理運営について、指定管理者との連絡を密に行い優先度の高いものから整備等に対応していることで、快適な環境の提供が利用者の評価に繋がっている。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>c</b>	<b>b</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>a</b>		
今後の対応	体育施設の良い利用環境を維持するため、施設の適正管理に努めるとともに計画的に整備を進めていく。更に、市全体の公共施設の個別施設(維持管理)計画等との整合を図りながら、中小規模整備等についても、独自に計画的かつ効果的な整備に努める。					



## 事務事業点検・評価調査

### 1. 事業名等

事業名	地域スポーツ活性化推進事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系	<b>【基本方針3】</b> 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する 2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組みの推進 誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進 競技力向上の推進 スポーツを通じた地域活性化の推進	予算科目	款 10 教育費
教育振興計			項 5 保健体育費
実施年度	R4目標値:      %    R4実績値:      %    R4達成度:      %	目 1 保健体育総務費	

### 2. 事業の概要

事業目的	特色ある施設環境等を生かし、スポーツを通じた交流拡大と地域活性化を図る。
事業内容	(1)スポーツツーリズム事業として、さくらんぼマラソン大会、ツーリズム交流事業等を開催し、交流人口の拡大と地域活性化に繋げる。 (2)スポーツ競技力向上に係る支援事業として、全国大会等出場者への激励事業等を行う。 (3)東京2020を契機とし、市民のスポーツ実施率の向上と障がい者スポーツの振興等に繋げる。(ツーリズム含む)

### 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	26,708	補正額等	0	合計	26,708	決算額	14,837
R4	当初予算額	19,045	補正額等	0	合計	19,045	決算額	16,945

### 4. 事業の実施状況

東京2020(オリ・パラ)を契機とした各種事業を市民のスポーツ実施率の向上等に繋げ、スポーツツーリズム関連の各種大会等の開催による、交流拡大と地域活性化を図ろうとしたが、コロナ禍による中止・縮小や事業組替等を余儀なくされるものが多く、感染対策のもと新しい形態や代替の事業として行った。  
 全国大会等出場者への激励事業など、更なる競技力向上と指導者育成に向けた事業を継続実施した。

(1)さくらんぼマラソン大会負担金 計上なし (R3:8,125千円⇒4,125千円/R2: 15,000⇒2,000千円/ H31: 12,800千円)  
 ◎ 参加者(大会中止) (R3:オンライン大会2,070名/ R2: 大会中止/ H31: 2,819名)

(2)トライアスロン大会負担金 ※豪雨災害のため中止(2,000千円⇒0) (R3:復旧工事のため計上なし/ R2: 2,000千円⇒400千円/ H31:1,500千円)  
 ◎ 参加者(大会中止) (R3:大会中止/R2: 大会中止/ H31: 157名)

(3)スポーツツーリズム交流事業負担金 (17,050千円)  
 (R3:8,136千円/R2: 16,800⇒2,800千円/ H31: 3,000千円)  
 (ツーリズム関連 : ツールドさくらんぼ、さくらんぼウォーク、スケートボードスクール、他)

(4)全国大会等出場激励金 33件,780千円 (R3:20件,200千円/R2: 14件, 140千円/ H31: 53件, 610千円)

### 5. 事業の成果及び評価

(1)新型コロナウイルス感染症がなかなか収束に向かわず、前年度に引き続き多くの事業が中止や規模縮小等を余儀なくされた。その中で、観光課より移管された「さくらんぼウォーク」には約770名の方がエントリーされ、寒河江の自然や歴史を肌で感じていただき高評価であった。

(2)廃校となった旧幸生小学校の体育館を、屋内スケートボードの練習場として実証実験を行い、地域住民や利用者から好評を得ている。

(3)競技力向上に関連する取組が、全国大会等の上位大会出場者等の励みとなっており、多彩な競技種目の出場に拡大している。(コロナ禍であったが、感染対策を行った上での大会が再開されたものもあり、前年比増加。)

(4)継続的な障がい者スポーツ振興に関連する事業を通じ、障がい者や障がい者スポーツへの理解や交流を図っている。ポッチャ(パラリンピック種目)等の体験教室の出前や仮設コートの設置及び動画による普及を進め、参加者の増加や理解に繋がっている。

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>b</b>	<b>b</b>		
今後の対応	オリンピック・パラリンピック等により機運が高まったスポーツへの興味関心をなくさないよう、人気が高まったアーバンスポーツ等を推進しつつ、スポーツツーリズム関連機関等と連携し、多様なスポーツへの関わり方「する・みる・支える」により、市民のスポーツ実施率の向上に加え経済への波及など、地域活性化にも繋げていく。 旧幸生小学校体育館の実証実験を経て、今後の利活用について検討していく。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	市史編纂事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切にすることの推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 8 市史編纂費
実施年度	R7目標値:       %   R4実績値:       %   R4達成度:       %		

### 2. 事業の概要

事業目的	歴史資料の収集・調査を行い、市史を発刊し、寒河江市の歴史と文化を後世に伝える。
事業内容	(1) 郷土資料の収集・解読・研究 (2) 市史等の原稿執筆・編集・発刊

### 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	6,513	補正額等	0	合計	6,513	決算額	4,802
R4	当初予算額	8,677	補正額等	161	合計	8,838	決算額	7,622

### 4. 事業の実施状況

(1) 市史編纂委員会を開催し、市史の編集方針や発刊等について協議 (2) 市史編纂事業計画に基づき、寒河江市史要約編を発刊 (3) 市史編纂事業の周知と資料収集の広報を兼ねて、毎月、市報5日号「生涯学習のまど」内に「市史編さんだより」を掲載
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 5. 事業の成果及び評価

(1) 市史要約編の発刊により、市民の市史に対する関心を高めることができた。 (2) 歴史資料の収集や調査により、市内の歴史・文化資料の適切な保存と活用に資することができた。 (3) 「市史編さんだより」の市報掲載や歴史に関する相談に随時対応することにより、ふるさとの歴史の啓発・普及が図られた。
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	A	継続
a	b	a	a	a		
今後の対応	(1) 市史編纂委員会において策定した市史編纂事業計画に基づき、発刊作業を進める。令和5年度は、市史編纂叢書第92集を発刊する予定である。 (2) 市史編纂事業の実施に当たっては市史編纂専門員体制を維持し、歴史文化活動推進員等の協力を得ながら郷土の歴史資料の収集、並びに散逸・消失を防ぐと共に、調査研究を進め、市民等への市史の普及を図る。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	文化財保護庶務事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	<b>【基本方針4】</b> ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切に活動の推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護 民俗芸能や伝統行事の保護と伝承	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 9 歴史文化費
実施年度	R7目標値:        件    R4実績値:        件    R4達成度:        %		

### 2. 事業の概要

事業目的	市内に所在する文化財の保護を図り、寒河江市の歴史と文化を後世に伝える。
事業内容	(1) 指定候補文化財の調査及び文化財保護委員会での審議・答申 (2) 「市文化財保存活用地域計画」の作成 (3) NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関連するPR事業の実施

### 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	3,798	補正額等	0	合計	3,798	決算額	1,627
R4	当初予算額	3,770	補正額等	8,072	合計	11,842	決算額	11,355

### 4. 事業の実施状況

(1) 「木造阿弥陀如来坐像」を市文化財指定により保護した。 (2) 「市文化財保存活用地域計画」を作成し、文化庁の認定を受けた。 (3) 本市にゆかりのある大江広元が登場する大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送を機に、大江公シンポジウムの開催やNHK相互協力冊子制作、ゆかりの地映像制作等を行った。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 5. 事業の成果及び評価

(1) 市文化財指定により、重要な文化遺産を保護することができた。 (2) 「市文化財保存活用地域計画」の策定により、文化財を将来にわたり適正に保存・活用し歴史文化振興に資する指針を示すことができた。 (3) 本市における大江氏が治めた足跡を広く発信することで、本市の歴史への興味関心及び交流人口の拡大につなげた。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	A	継続
a	a	a	a	b		
今後の対応	(1) 本市の歴史と文化を後世に伝えていくため、市内所在の文化財を保護していく。 (2) 「市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化遺産の保存・活用を推進していく。 (3) 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送を契機に認識が高まった大江氏に関する本市の歴史について、継続的に全国へ発信し市民への周知を図る。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	史跡慈恩寺旧境内整備事業	所管課・係	生涯学習課 慈恩寺振興係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切にすることの推進 史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用	予算科目	2 総務費 1 総務管理費 6 企画費
教育振興計画		実施年度	R4目標値:                      R4実績値:                      R4達成度:                      %

### 2. 事業の概要

事業目的	史跡「慈恩寺旧境内」の保存整備と活用整備を行うとともに、史跡の正しい理解に導くため広く周知を図る。
事業内容	・史跡慈恩寺旧境内整備検討委員会の開催 ・史跡の保存整備及び活用整備 ・史跡の理解促進、情報発信及び地域活性化 ※参考: 令和3年度は慈恩寺振興課所管

### 3. 予算額・決算額

								(単位: 千円 千円未満切上げ)	
R3	当初予算額		補正額等		合計		決算額		
R4	当初予算額	14,576	補正額等	0	合計	14,576	決算額	14,323	

### 4. 事業の実施状況

・史跡慈恩寺旧境内整備検討委員会の開催 …1回(11月) ・史跡の観光ルート整備のため、説明板・誘導サインを設置、便益施設(ベンチ)を交換及び設置 …説明板12か所、誘導サイン1か所、便益施設(ベンチ)4か所 ・慈恩寺テラスシアターでの新映像公開及び三重塔内の三重塔模型を慈恩寺テラスで展示 …新映像2本公開及び三重塔模型台製作設置 ・史跡内にある熊野神社拝殿理工事への補助金支出 …1,700,000円 ・史跡の情報発信・活用のため、修験の道ウォーキングを実施 …3回(10月22日・20名、10月26日・19名、10月29日・18名) ・史跡の理解促進及び情報発信のため、慈恩寺Timesを発行 …4回(4月、6月、9月、1月)
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 5. 事業の成果及び評価

・慈恩寺テラス4K大型ラウンドシアターでの新映像公開、三重塔模型展示等により、史跡の理解促進及び魅力発信を図った。来場者からは好評であった。 ・堂社跡や楯跡への説明板設置、誘導サイン設置、便益施設(ベンチ)交換及び設置により、来訪者の満足度向上につながる史跡内散策の環境整備を行った。今後は、堂社跡・楯跡全体の案内看板を追加し、散策の利便性向上が必要である。 ・慈恩寺Timesの発行、修験の道ウォーキング等の実施により、史跡への理解促進及び情報発信を図った。修験の道ウォーキング参加者からは、知らなかった歴史を知ることができてよかった等好評であった。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>b</b>	<b>a</b>	<b>b</b>	<b>b</b>		
今後の対応	・史跡の保存整備及び活用整備については、当初計画通りに実施し、慈恩寺テラス来場者やイベント参加者からは概ね良い評価が得られた。今後は、史跡内散策のための案内看板追加や、各種散策イベント、慈恩寺テラス企画展の充実等により、史跡への一層の理解促進及び魅力発信に取り組んでいく。 ・史跡の保存整備のため補助している熊野神社拝殿修理工事2年目は、計画通りの進捗状況であった。修理工事最終年度の令和5年度も補助金を支出し、支援する。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	郷土館保存事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りをもち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切にすることの推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費
実施年度	R4目標値:      %      R4実績値:      %      R4達成度:      %		

### 2. 事業の概要

事業目的	(1) 県指定文化財である旧西村山郡役所、旧西村山郡会議事堂の保存を図る。 (2) 郷土の歴史資料展示施設として、市民の郷土学習活用を図り、歴史と文化を後世に伝える。
事業内容	(1) 郷土館の保存・維持管理 (2) 郡制時代をテーマとした資料館としての一般開放 (3) 郷土館特別展の開催

### 3. 予算額・決算額

								(単位:千円 千円未満切上げ)	
R3	当初予算額	2,396	補正額等	0	合計	2,396	決算額	1,864	
R4	当初予算額	2,454	補正額等	△91	合計	2,363	決算額	2,093	

### 4. 事業の実施状況

<p>(1) 県指定有形文化財旧西村山郡役所・旧西村山郡会議事堂の保護と郷土資料の収集・展示を行い、郷土学習の機会を提供した。 (開館期間:4月8日～11月12日の土・日曜日・祝日 入館者数:1,515名)</p> <p>(2) 郷土館特別展「寒河江を治めた大江氏」を開催した。(開催期間:9月16日～10月10日 入館者数:182名) さらに、特別イベント「寒河江城址を巡る」を開催した。(開催日:10月7日 参加者数:18名)</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 5. 事業の成果及び評価

<p>(1) 管理運営並びに維持管理等業務の委託により、きめ細やかな管理を行うことができた。 (2) 郷土館特別展では、本市の基礎を築いたと評される大江氏の足跡について関心を高めることができた。 (3) 市内の小・中学校の郷土学習に対応し、郷土館のPRや収集・保管資料の活用ができた。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	A	拡充
a	b	a	a	a		
今後の対応	<p>(1) 県指定有形文化財である建物を後世に残すため、修繕を実施し適正に保存していく。 (2) 特別展等の開催や展示替えを行い、郷土を学ぶ環境づくりに努める。 (3) 郷土館のさらなる活用に向け、郷土館利活用基本計画の策定を目指す。 (R5予算 3,542千円)</p>					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校職員衛生管理事業		所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する		予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費
教育振興計画	1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり			
実施年度	R4目標値: 100%	R4実績値: 100%	R4達成度:	100%

※学校職員の健康診断受診率

## 2. 事業の概要

事業目的	学校職員の安全の確保及び健康の保全を図る。
事業内容	(1) 衛生委員会の設置 (2) 学校職員の健康診断等の実施 (3) 長時間労働等に係るメンタルヘルス面接指導

## 3. 予算額・決算額

						(単位:千円 千円未満切上げ)		
R3	当初予算額	4,117	補正額等	0	合計	4,117	決算額	3,608
R4	当初予算額	4,355	補正額等	0	合計	4,355	決算額	3,770

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 学校職員の健康維持を図るため、衛生委員会を設置。</p> <p>(2) 学校職員を対象にした健康診断、胃がん、大腸がん検診を実施。</p> <p>(3) 学校職員を対象にしたストレスチェックを実施。受診率 小学校 R2 83.9%、R3 94.4%、R4 85.0% 中学校 R2 67.0%、R3 71.1%、R4 57.4%</p> <p>(4) 所定の時間を超える時間外勤務を行った学校職員に対し、産業医等による面接指導を実施(R4 面接者 35名)</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5. 事業の効果及び評価

<p>学校職員等の健康診断については、人間ドック対象職員を除いた全ての対象者が受診するように働きかけ、全ての職員が受診することができた。また、「陵南中学校衛生委員会」及びその他市内の小中学校で組織した「総括衛生委員会」において、学校職員の健康診断及びストレスチェック業務を実施状況や結果を報告し、共有した。</p> <p>加えて長時間勤務者の状況の報告とメンタルヘルス面接指導の対応について協議し、職場環境改善に向け努力していくことを確認できた。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	A	継続
b	a	a	b	a		
今後の対応	学校職員衛生委員会を中心に、学校職員の健康維持に努める。特に、メンタル面での健康維持について、不調者の早期発見及び産業医等への面接へつないでいく。					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育振興事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する 1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費 2.3 小学校費、中学校費 3 教育振興費
実施年度	R4目標値: % R4実績値: % R4達成度: %		

## 2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、児童の適切な学習環境の整備を図る。

## 3. 予算額・決算額

### (小学校費)

R3	当初予算額	16,891	補正額等	0	合計	16,891	決算額	16,853
R4	当初予算額	17,708	補正額等	0	合計	17,708	決算額	16,038

(単位:千円 千円未満切上げ)

### (中学校費)

R3	当初予算額	21,193	補正額等	0	合計	21,193	決算額	19,720
R4	当初予算額	12,233	補正額等	0	合計	12,233	決算額	10,430

## 4. 事業の実施状況

学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。

### (小学校)

- ① 教材教具、図書等一般事業 14,879 千円 (R3 15,161千円)
- ② 理科教育振興設備整備事業 1,159 千円 (R3 1,730千円)

教科書改訂年度に教員用指導書等を購入するため、年度間の予算に開きがある

### (中学校)

- ① 教材教具、図書等一般事業 9,913 千円 (R3 20,023千円)
- ② 理科教育振興設備整備事業 517 千円 (R3 1,170千円)

## 5. 事業の効果及び評価

- (1) 理科備品については、国庫補助金を活用し、各学校からの要望を踏まえながら、教材の整備を進めることができた。  
 (2) 児童生徒1人1台タブレットPCの使用開始にあわせ、デジタル教科書を導入。(小学校:各学年1教科、中学校:各学年2教科←各学校で購入教科を選択)また、デジタル教科書の使用により、英語発音、社会理科の動画視聴、さらに、支援を必要とする児童生徒には読み上げ、ルビ、文字拡大等学びやすい学習環境が提供できている。

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	b	b	b		
今後の対応	・教材教具整備については、可能な限り学校からの要望に沿った整備を進め、継続して学習環境の充実を図っていく。 ・1人1台タブレットPCと併用し、デジタル教科書の使用を継続、拡大していく。					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校管理事業(小中学校)	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 安全安心で充実した教育環境の整備 安全管理の徹底	項目	2,3 小学校費、中学校費
実施年度	R4目標値: % R4実績値: % R4達成度: %	目	1 学校管理費

## 2. 事業の概要

事業目的	教育環境の充実と安全安心な学校づくり及び、施設設備の維持管理
事業内容	小中学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理、備品消耗品の購入

## 3. 予算額・決算額

### (小学校費)

(単位:千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	179,305	補正額等	0	合計	179,305	決算額	176,354
R4	当初予算額	338,696	補正額等	167,277	合計	505,973	決算額	320,609

### (中学校費)

R3	当初予算額	89,249	補正額等	0	合計	89,249	決算額	82,709
R4	当初予算額	54,680	補正額等	0	合計	54,680	決算額	52,103

## 4. 事業の実施状況

(1) 保守点検、施設管理業務委託等
① 警備保障業務、消防用設備保守点検業務、空調設備定期簡易点検業務、貯水槽清掃点検業務、樹木剪定業務
② 印刷機・コピー機賃借 外
(2) 修繕
給排水管修理、消防設備修理、プールろ過機等修理他
(3) 施設整備工事
小学校LED更新工事、小学校トイレ大規模改修工事、地下油タンク廃止撤去工事、小学校特別教室空調設備工事
防犯対策工事 他
(4) 備品整備
児童用椅子 外

## 5. 事業の効果及び評価

(1) 全ての小中学校の普通教室、特別教室等へのエアコン設置が完了し、エアコンによる冷暖房を開始。ボイラーの維持管理業務や重油・灯油購入が不要となった。
(2) 蛍光灯をLED化したことによる節電効果として、寒河江小、寒河江中部小の電気使用デマンド値で確認できた。 寒河江小 5月でのデマンド値 R4 79 → R5 58 寒河江中部小 5月でのデマンド値 R4 83 → R5 53

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	a	a	b	b		
今後の対応	「学校施設整備計画」において、新たな中学校の設置や小学校の統合が行われる計画が示されている。今後学校により施設設備の不良箇所改修は、大規模な工事等によらず機能維持のための修繕とするなどの選別が必要となる。					



## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	公民館活動事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計画	3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 活力ある地域をつくる地区公民館運営		4 社会教育費
実施年度	R7目標値: 4,200人 R4実績値: 893人 R4達成度: 21.2%	目	4 公民館費

### 2. 事業の概要

事業目的	生涯学習の拠点として、市民の学習ニーズに即した講座や文化、レクリエーション等の各種事業を実施し、生涯学習活動と公民館活動を推進する。
事業内容	(1)各地区公民館と分館、地域団体が連携しながら、自主的な学習活動や研修会等の地域づくり活動を支援していく。 (2)中央公民館では、歌を通して豊かな心を育む寒河江市少年少女合唱団の育成を図る。

### 3. 予算額・決算額

								(単位:千円 千円未満切上げ)	
R3	当初予算額	4,312	補正額等	0	合計	4,312	決算額	3,236	
R4	当初予算額	4,409	補正額等	0	合計	4,409	決算額	3,687	

### 4. 事業の実施状況

<p>①分館活動／市内61分館において、まだコロナの影響で中止や規模縮小となる事業が多かったが、一部再開される活動も見られた。</p> <p>②生涯学習活動推進員／17名の推進員から、自主事業の運営に協力いただいた。</p> <p>③学びのふるさと推進事業 (ア)地域塾事業(分館と地区公民館が連携し実施する複数回の学習会)…コロナ禍によりR2・3・4年度は中止 (イ)分館連携事業(分館と地区公民館が連携し地域力向上等を図る事業)／栄町分館(認知症予防講座)、高屋分館(子ども育成会とのふれあい事業)、八郷分館(輪投げ大会)、谷沢分館(地名探検ウォーキング)、日和田分館(演芸大会) (ウ)寒河江市公民館大会(2月11日開催)／講演「みんなの活動が作り出す地域の元気」山形大学人文社会科学部 教授 下平裕之氏 (エ)寒河江市少年少女合唱団／創立五十周年定期演奏会、スプリングコンサート、県少年少女合唱祭参加</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 5. 事業の成果及び評価

<p>引き続き新型コロナウイルス感染予防対策を執りながらも、三年ぶりの公民館大会や、四年ぶりの少年少女合唱団定期演奏会も行われ、各種団体の活発な活動の再開が見られた。地区においても、南部地区の「南部フェスタ」や高松地区の子ども会事業・文化祭などが開催された。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>c</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>		
今後の対応	コロナ禍の制約も解除になり、今後各地区の活動の再開も進む中で、これからの活動の在り方の研修等も含め、積極的に育成・支援していく必要がある。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	公民館整備事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計画	3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進		4 社会教育費
実施年度	R7目標値: 2分館    R4実績値: 3分館    R4達成度: 50%		1 社会教育総務費

### 2. 事業の概要

事業目的	地域のコミュニティの核である地区公民館分館の整備を支援し、機能充実を図ることで更なる地域力の向上を目指す。
事業内容	分館の新築・増改築、駐車場舗装及び耐震改修等の整備事業に対し、予算の範囲内で事業費の一部を補助する。

### 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	9,191	補正額等	0	合計	9,191	決算額	8,578
R4	当初予算額	9,000	補正額等	52	合計	9,052	決算額	9,047

### 4. 事業の実施状況

<p>公民館整備事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清助新田分館屋根塗装及び外壁修繕工事</li> <li>事業費 3,740,000円 完成年月日 令和4年10月28日 補助金額 1,870,000円</li> <li>他、全13分館 事業件数 14件15項目 補助総額 9,047,000円</li> <li>○事業内訳(延べ件数)</li> <li>・エアコン設置工事 3件 ・屋根等塗装工事 4件 ・照明LED化工事 2件 ・備品購入 3件</li> <li>・トイレ改修工事、畳替え工事、防水工事 各 1件</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 5. 事業の成果及び評価

<p>13分館において整備が図られ、地域活動の活性化につながった。 耐震基準を満たしていなかった宝分館が、既存の宝集落センター(耐震基準を満たす)に分館の所在地を変更したため、耐震基準を満たさない分館数が4分館から3分館に減少した。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>b</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>a</b>		
今後の対応	各分館に対して、分館の整備に係る意向調査を行い、事業を進めていく。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計画	3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進 生涯学習活動を通じた地域コミュニティの活性化		4 社会教育費
実施年度	R7目標値:                      R4実績値:                      R4達成度:                      %	目	10 生涯学習推進費

### 2. 事業の概要

事業目的	放課後や週末及び小学校の長期休業中の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、集団遊びや地域の人々との触れ合いを通して子どもの社会性を養い、さらに、地域の教育力の向上を図る。
事業内容	寒河江市放課後子どもプランの事業として、放課後や週末等に市内の小学校児童を対象に教室を開催。

### 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	1,438	補正額等	0	合計	1,438	決算額	919
R4	当初予算額	1,618	補正額等	0	合計	1,618	決算額	1,237

### 4. 事業の実施状況

<p>コロナ禍により、人数を制限したり、回数を減らしたりしながらも、全小学校を対象として5教室を開催した。</p> <p>内容:ニュースポーツ体験、図画工作活動や施設見学などを実施。</p> <p>参加人数等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター 7名(前年度比2名増) 協働活動支援員・サポーター 33名(前年度比2名増)</li> <li>・参加者総数 193名(前年度比14名増)</li> <li style="padding-left: 20px;">(参加者内訳) 寒河江小・西根小・三泉小:63名(前年度同数) 寒河江中部小:75名(前年度比6名増)</li> <li style="padding-left: 20px;">南部小:15名(前年度同数)、柴橋小:21名(前年度比1名増)、</li> <li style="padding-left: 20px;">高松小・醍醐小・白岩小・幸生小 19名(前年度比7名増)</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 5. 事業の成果及び評価

<p>(1)コロナ禍により人数を制限したり回数を減らしたりしながらも、工夫を凝らし各公民館において事業を実施することができた。</p> <p>(2)集団内の異年齢交流や、地域の方々との交流が図られ、充実した教室を展開することができた。</p> <p>(3)活動を通し、参加した児童の社会性が培われた。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>b</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>a</b>		
今後の対応	<p>(1)子ども達の社会性を高めるため、地域の大人との触れ合いや自然体験の機会を盛り込み、放課後児童クラブとも連携しながら事業を行っていく。</p> <p>(2)指導員の後継者の確保に努め、教室の運営体制の充実を図っていく。</p> <p>(3)本事業を通して、子ども達の地域活動への参加が促進される流れを作っていく。</p>					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育委員会事務局管理事業			所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する			予算科目	10 教育費
教育振興計画	4 開かれた教育行政の推進				1 教育総務費
	信頼に応える教育行政の推進 教育情報の公開と共有化の推進			2 事務局費	
実施年度	R4目標値: %	R4実績値: %	R4達成度: %		

## 2. 事業の概要

事業目的	教育委員会事務局(学校教育課)の総務一般に関する事務を処理する。
事業内容	(1)教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事務 (2)教育功労、叙勲等に関する事務 (3)教育委員会の事務事業の点検・評価に関する事務 (4)学校基本調査等各種調査に関する事務 (5)その他学校教育課内の庶務に関する事務

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R3	当初予算額	3,581	補正額等	0	合計	3,581	決算額	3,129
R4	当初予算額	3,295	補正額等	0	合計	1,076	決算額	1,076

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)教育功労、叙位叙勲に関する処理実績 ・高齢者叙勲 1件(R3 2件) ・死亡叙位叙勲 0件(R3 3件)</p> <p>(2)教育委員会が執行した事務事業(令和4年度分)の点検・評価を実施し、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページ等において公表。</p> <p>(3)学校基本調査、地方教育費調査、学校施設台帳作成等各種調査事務を執行。</p> <p>(4)寒河江市総合教育会議の開催 2回</p> <p>(5)教育委員に関する事務(毎月の定例委員会、全小中学校を対象にした学校訪問等)</p> <p>(6)「寒河江市立中学校部活動の地域移行に関する検討会議」の事務局として、第1回～第4回の検討委員会を実施した。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5. 事業の効果及び評価

<p>(1)「第2次市教育振興計画」(改定版)を4月から施行した。児童生徒1人1台配備されたタブレットPCは、県内で最も早く自宅への持ち帰りを実施し、オンラインでの授業参加などに積極的に取り組むなど、新たな主要施策とした掲げた「これからの時代を見据えた教育の情報化の推進」を実践した。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	a	b	b		
今後の対応	「部活動改革」について、検討委員会を組織し、協議検討を進めていく。					

---

---

令和5年8月

◆学校教育課

〒991-8601 寒河江市中央一丁目9番45号  
TEL 0237-86-2111(代表) FAX 0237-86-8691  
e-mail [kyouikuka@city.sagae.yamagata.jp](mailto:kyouikuka@city.sagae.yamagata.jp)

◆生涯学習課

〒991-0003 寒河江市大字西根字石川西333  
TEL 0237-86-5111 FAX 0237-86-2201  
e-mail [shogaku@city.sagae.yamagata.jp](mailto:shogaku@city.sagae.yamagata.jp)

◆スポーツ振興課

〒991-0003 寒河江市大字西根字石川西365(市民体育館内)  
TEL 0237-84-1877 FAX 0237-86-9876  
e-mail [sports-sagae@city.sagae.yamagata.jp](mailto:sports-sagae@city.sagae.yamagata.jp)

【寒河江市教育委員会】

---

---